

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	英会話 I		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	日常生活の中でよく使われる英語表現を学び、英語力を身に付ける。						
担当講師	氏名 古場なおみ		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	技能をバランスよく学習し、身近な英語表現を知ることによって自分自身の英語力を高めていく。						
準備学習の内容	積極的に辞書を使用すること。スマートフォンに辞書アプリを入れておくと気軽に検索することができる。スクーリングでも使用する（電子辞書でも可）。						
授業の進め方	自分の状況に合った会話を自分自身で作り、声にするという手順で勉強する。英語による会話に馴染み、結果的に会話力が高まることを目標とする。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	オリエンテーションHappy English forChildcare "Pre-unit"	1時間
2	Happy English forChildcare Pru Unit1	1時間
3	Happy English forChildcare Unit2	2時間
4	Happy English forChildcare Unit3	2時間
5	Happy English forChildcare Unit4	2時間
6	Happy English forChildcare Unit5	2時間
7	Happy English forChildcare Unit6	2時間
8	Happy English forChildcare Unit7	2時間
9	Test	1時間
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

試験の成績を基に、レポートの状況、スクーリングの状況なども踏まえて評価する

使用教材・参考文献等

本学テキスト『英会話 I』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	英会話 I（面接）	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	日常生活の中でよく使われる英語表現を学び、英語力を身に付ける。					
担当講師	氏名 古場なおみ	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生 期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	技能をバランスよく学習し、身近な英語表現を知ることによって自分自身の英語力を高めていく。					
準備学習の内容	積極的に辞書を使用すること。スマートフォンに辞書アプリを入れておくと気軽に検索することができる。スクーリングでも使用する（電子辞書でも可）。					
授業の進め方	自分の状況に合った会話を自分自身で作成し、声にするという手順で勉強する。英語による会話に馴染み、結果的に会話力が高まることを目標とする。					

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	Happy English forChildcare Unit8	2時間
2	Happy English forChildcare Reading	2時間
3	模擬授業	4時間
4	Happy English forChildcare Unit9	2時間
5	Happy English forChildcare Reading	2時間
6	模擬授業	3時間
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

小テストの成績、授業への積極的な参加により評価

使用教材・参考文献等

通信テキスト『英会話 I』 辞書（電子辞書でも可）を忘れないように持ってくる

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	健康科学	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	健康維持や体力向上に対するスポーツ活動のもつ教育意義を学ぶ。					
担当講師	氏名 柴本 稔	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験						
時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生 期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	健康維持や体力向上に対するスポーツ活動のもつ教育的意義について説明することができる。					
準備学習の内容	テレビ、新聞、雑誌、インターネットにおける健康・体カスポーツに関する情報（とりわけ子どもを対象とするもの）に日常的に関心を向けておくこと。					
授業の進め方	健康・体カ・スポーツに関する情報に日常的に関心を向け、地域における様々なスポーツイベントに主体的に参加したりしてスポーツ活動の現状に対する理解を深めていく。					

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	ガイダンス・スポーツの概念	1時間
2	スポーツの本質的特性	2時間
3	社会生活の変化とスポーツ（余暇社会とスポーツ）	1時間
4	地域社会とスポーツ	2時間
5	スポーツ参加の現状と課題	2時間
6	健康の概念	2時間
7	健康・体カと運動	2時間
8	生活におけるトレーニング	2時間
9	テスト	1時間
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート①記事の収集方法及び内容 ②収集した記事の活用能力 ③レポート作成者なりのスポーツに対する考え方の展開 科目終末試験①設題に対する理解度 ②設題内容に関する論述内容 ③「自らの考え方」「自らの体験」「具体的事例」 授業態度等

使用教材・参考文献等

本学テキスト『生涯スポーツ・健康科学』 玉木正之著『スポーツとは何か』講談社 酒井青樹・峯岸純子著『スロースポーツに夢中』岩波書店 永井洋一著『少年スポーツ ダメな大人が子供をつぶす』朝日新書 伊藤数子著『ようこそ、生涯スポーツへ』廣済堂出版

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	生涯スポーツ（面接）	授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	各種スポーツに触れながら「できる」「わかる」「みんながうまくなる」を理解し、指導計画を学ぶ。					
担当講師	氏名 森 俊弘	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生 期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	幼児期及び青年期における運動・スポーツの意義や果たすべき役割を理解することができる。子どもや障がい者を対象とした運動・スポーツ活動に関する基礎的な技能を習得する。子どもや障がい者や高齢者を対象とした運動・スポーツ活動のレパートリーを増やすことができる。					
準備学習の内容	地域における様々なスポーツイベントに自主的に参加したり、子どもや障がい者を対象としたスポーツ活動へボランティアとして参加することを通して、スポーツ活動の現状に対する理解を深めること。					
授業の進め方	各種スポーツの技能の向上を中核目標としながら、スポーツ文化が形成されてきた歴史的、風土的、社会的背景について理解を深めていく。					

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	オリエンテーション・アイスブレイキングゲーム	5時間
2	コミュニケーションゲーム	
3	ボールを使ったあそび	
4	バレーボール（試しのゲームとゲーム分析）	
5	ルール作り①（発生当初のルールを参考に）	
6	ルール作り②（ラリー数を増やすために）	
7	ルール作り③（三段攻撃を増やすために）	
8	障がい者を対象としたバレーボール	5時間
9	高齢者を対象としたバレーボール	
10	レクレーションゲーム	
11	バトミントン（試しのゲームとゲーム分析）	5時間
12	リーグ戦①（ルール理解を深めるために）	
13	リーグ戦②（オーバーハンドスローの習得のために）	
14	幼児期及び青年期以降におけるスポーツの意義	
15	まとめの課題	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

毎日の感想文（35%） 実技中のグループワークへの取り組み（30%）
 まとめの課題レポート（30%）

使用教材・参考文献等

玉木正行著『スポーツとは何か』講談社 酒井青樹・峰岸純子著『スロースポーツに夢中』岩波書店 永井洋一著『少年スポーツ ダメな大人が子供をつぶす』朝日新書 伊藤数子著『ようこそ、障害者スポーツへ』廣済堂出版

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	情報処理 I		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	パソコンの基本的な操作方法を学びExcel・Wordの一般的な技術を取得する。						
担当講師	氏名 早田伸洋		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	情報処理の基礎～ソフトウェアを学習範囲とし、情報の意味とコンピュータの発達過程、ハードウェア/ソフトウェアについて概観する。						
準備学習の内容	受講前にWindowsの基本操作（日本語入力、マウスやキーボードの操作、ファイルのコピー・移動等）を一通り習得していることが望ましい。						
授業の進め方	インターネットや雑誌などを併用し、最新技術や動向を調べ、その内容を自身の言葉で説明できる程度になるまで理解し検討や考察を加えることができる。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	情報処理の基礎について	2時間
2	コンピュータシステムについて第1部	2時間
3	コンピュータシステムについて第2部	2時間
4	ソフトウェアについて	2時間
5	ネットワークについて	2時間
6	コンピュータとネットワークの脅威について	2時間
7	オフィススイートの導入と利用について	2時間
8	まとめ・テスト	1時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート、試験、演習課題を総合評価する

使用教材・参考文献等

本学テキスト『情報処理入門』

参考文献 近年のトレンドを探る上で『日経パソコン』や『日経ネットワーク』等の雑誌

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	情報処理 I（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	パソコンの基本的な操作方法を学びExcel・Wordの一般的な技術を取得する。						
担当講師	氏名 早田伸洋		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門 <input checked="" type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	利用頻度の高い事務系ソフトの基礎的な利活用方法を演習して習得することを目標とする。						
準備学習の内容	インターネットや雑誌などを併用し最新技術や動向を調べる。						
授業の進め方	情報処理の基礎～ソフトウェアを学習範囲とし、情報の意味とコンピュータの発達過程、ハードウェア／ソフトウェアについて概観する。						

回数	授業内容	授業時間
1	Wordの基本操作、文字入力、フォント設定	8時間
2	段落の設定、ページレイアウトの設定、印刷	
3	画像（写真、クリップアート、ワードアート）の取り組みと編集	
4	図形描画機能の利用	
5	Word総合演習（チラシ作成）	
6	Excelの基本操作、文字・セル・罫線の設定	7時間
7	計算式の入力、基礎的な関数、Excel総合演習（家計簿の作成）	
8	まとめ・レポート	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

総合演習（70%） 授業参加態度（30%）

特に指定しないが、必要に応じてword・excel・PowerPointに関する市販の参考書を参照する事
--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	日本国憲法		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	憲法がもっとも大切にしている原理・原則は何か、またそれを実現するための政治の仕組みはどうなっているかを体系的に学ぶ。						
担当講師	氏名 初田健治		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	憲法は国の基本法として日本の政治と国民の基本的なあり方を示したものであるが、そこには矛盾や問題点があることを気づき、一人の国民として考え、そしてリーガルマインドを養っていく事を目標としている。						
準備学習の内容	関係する憲法条項を必ず参照しつつ、その意味内容も（一般的な解釈）理解し、そこでの問題としてどのような問題があるかを認識する。何よりもテキストを熟読することが大切。						
授業の進め方	憲法がもっとも大切にしている原理・原則は何か、またそれを実現するための政治の仕組みはどうなっているかを体系的に学ぶ。						

回数	授業内容	授業時間
1	ガイダンス・日本国憲法とは	2時間
2	明治憲法	2時間
3	日本国憲法の制定	2時間
4	国民主権	2時間
5	平和主義 憲法9条	2時間
6	基本的人権	2時間
7	自由権	2時間
8	社会権	2時間
9	受益権 国民の義務	2時間
10	統治機構	2時間
11	国会	2時間
12	内閣	2時間
13	裁判所	2時間
14	地方自治 憲法改正	2時間
15	まとめ 試験	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

試験結果・授業態度を総合評価する

本学テキスト『日本国憲法』 参考文献 テキストの巻末に紹介

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	幼児と音楽表現（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育者として子どもが音楽を楽しみながら様々な表現活動をするために、声楽の基礎（発声法）や鍵盤楽器の基礎を身に付ける。						
担当講師	氏名 前田奈緒		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	「声」についてのイメージを深め、発声法、表現法を習得する。器楽（ピアノ伴奏、楽器演奏）の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。基礎的な楽曲を理解し、読譜ができる。						
準備学習の内容	歌唱、ピアノともに練習あるのみ。特にピアノで初見状態でのレッスンは成立しないので、課題への取り組み、授業後の復習が大切。						
授業の進め方	子ども歌やコールユーブンゲンを歌うことで、レパートリーを増やし、音程の感覚を養う。弾き歌いの取組と歌唱の伴うピアノ伴奏も行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	発生のメカニズムと発声法・ピアノ基礎練習	1時間
2	譜表と音名・音符と休符、コールユーブンゲン1・2・3/5指の練習	1時間
3	拍子とリズム コールユーブンゲン4・5/ハ長調（音階・バイエル）	2時間
4	長音階 コールユブンゲン9・10 コンコーネ1/ハ長調（マーチ1~3/子どもの歌）	2時間
5	コールユーブンゲン811・12コンコーネ1/ト長調・ヘ長調・ニ長調（音階・コード表）	2時間
6	音程コールユブンゲン13・14AB コンコーネ2/マーチ5~8	1時間
7	コンコーネ2/子どもの歌	1時間
8	生活の歌/バイエル32~40(表現技術より) 2・23・25バイエル30~36	2時間
9	季節の歌13・15・16・33・41/マーチ9~10	2時間
10	実技試験	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実技試験（80%） 授業への積極的参加（20%）

使用教材・参考文献等

テキスト『音楽＜声楽教本＞』『音楽＜ピアノ教本＞』
 考資料 授業中に資料を配布

参

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	音楽表現技術		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	音・音楽による表現を主として、様々な角度から音楽表現について考える。また様々な音楽あそびを年齢・ねらいに応じて展開し、あそび歌・絵描き歌などオリジナルの創作・発表を行う。						
担当講師	氏名 野口香津代		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	「声」についてのイメージを深め、発声法、表現法を習得する。器楽（ピアノ伴奏、楽器演奏）の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。基礎的な楽曲を理解し、読譜ができる。						
準備学習の内容	歌唱、ピアノともに練習あるのみ。特にピアノで初見状態でのレッスンは成立しないので、課題への取り組み、授業後の復習が大切。						
授業の進め方	子ども歌やコールユーブンゲンを歌うことで、レパートリーを増やし、音程の感覚を養う。弾き歌いの取組と歌唱の伴うピアノ伴奏も行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	基礎練習	1時間
2	音程 コールユーブンゲン18・19・20／ピアノ弾き歌い3～5	1時間
3	コールユーブンゲン22・23・25・26／ピアノ弾き歌い6・7・8	2時間
4	コールユーブンゲン32・34 コンコーネ3／ピアノ弾き歌い10・12・15	1時間
5	コールユーブンゲン36・40 コンコーネ5／ピアノ弾き歌い17・18・19・20・22	1時間
6	子どもの歌3・4・5・7／ピアノ弾き歌い25・27・31・32・34	2時間
7	子どもの歌8・12・13・16／ピアノ弾き歌い38・39・44・48・49	2時間
8	子どもの歌18・20・21・36／ピアノ弾き歌い52・53・54・55	2時間
9	子どもの歌38・39・42・44／ピアノ弾き歌い59・62・67	2時間
10	実技試験	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レッスンの受講姿勢と実技試験成績を総合的に判断する

使用教材・参考文献等

本学テキスト『音楽（声楽教本）』『音楽（ピアノ教本）』 その他自身にあった子どもの歌やピアノ教本、またはお気に入りの曲を選ぶこと

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	幼児と造形表現（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	様々な素材や表現方法の基礎知識と造形教育指導の実践的な習得を目指す。						
担当講師	氏名 松添恭子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	保育園にて保育教諭として勤務。保育現場での経験をもとに造形表現の指導にあたる。						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	幼児の造形表現への理解を深めて、豊かな創造性を育み、必要な援助と成長を見守ることができる保育者の育成と、実践的造形教育指導の習得を目指す。						
準備学習の内容	自分が使用する材料、道具の準備をきちんと行う。※指定している持参材料・道具は指定されたものを必ず持参すること。						
授業の進め方	身近な素材を使った美術表現技法の習得とオリジナル作品の制作。さらに講義において、幼児の発達過程の特徴の理解を深め、その過程に適した創作活動の援助について考察する。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	美術表現技法「デカルコマニー」制作	1時間
2	講義 1 幼児画の発達過程「子どもの絵と造形、表現発達について」	1時間
3	講義 2 幼児画の特徴「縦断的子どもの描画記録から」	1時間
4	講義 3 幼児と造形表現と発達「子どもの作品は生活の鏡」	1時間
5	講義 4 幼児表象画の特徴	1時間
6	作品制作 1 幼児表象画に学ぶ「室内画」構造・下書き（記憶で描く）	2時間
7	作品制作 1 幼児表象画に学ぶ「室内画」着彩・仕上げ	2時間
8	作品制作 1 幼児表象画に学ぶ「室内画」演出後記の記述	2時間
9	共同制作 四季の行事をテーマに「美術表現技法の活用と表現」	2時間
10	共同制作 「作品仕上げと鑑賞」感想文の記述	2時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

課題作品、感想文（70%） 材料、道具、授業準備、積極的参加（30%）

使用教材・参考文献等

『図画工作』『造形表現（指導法）』 H・ガドナー『子どもの描画・なぐり描きから芸術まで』『事例で学ぶ保育内容領域「表現」』
鳥居昭美『子どもの絵をダメにしませんか』『幼保連携型 認定こども園教育、保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針（原本）』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	教育心理学		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	どのように人間関係を築いていくのかなど、心理学における様々な研究から得られた知見を学ぶ。						
担当講師	氏名 濱本信乃		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	病院にて臨床心理士として勤務。心理学の理論や子どもの心身の発達について講義を行う						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 前期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	心理学の知識を学ぶ事を通して①発達論、学習論の基礎的知識を修得し、②幼児期にある子どもの生活を理論的に捉えて支え、学びと探求を十全に展開させるための基本的な態度の基礎を形成する。						
準備学習の内容	あらかじめテキストに目を通しておくこと。実際に保育の中でどのように心理学の知見を活用できるかを考える。						
授業の進め方	実際の保育現場でどのように心理学の知見を役立て行けばよいか演習やグループ討議を通じて理解を深める。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	教育心理学とは	1時間
2	こどもの発達と環境	1時間
3	認知の発達	1時間
4	社会性の発達	2時間
5	学習の基礎①記憶	2時間
6	学習の基礎②学習理論	2時間
7	学びの動機づけ	2時間
8	パーソナリティの発達	2時間
9	教育・保育における評価	1時間
10	教育心理学を保育に活かす	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポートに関して、内容の首尾一貫性、設題に的確に答えているかという点と、説得力のある自分なりの考えを記述できるかを中心に評価する。科目終末試験に関しては、設題の意図を的確に反映しているかどうかという点と、自分なりの考え、意見を記述できるかという点を中心に評価する。

使用教材・参考文献等

『保育に生かす教育心理学』伊藤健次編 『教育心理学を愉しむ』宮原英種・宮原和子著

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	幼児の心理学		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	本講義は特に幼児期を中心に生涯（特に青年期まで）にわたる変化の理解に向けて、子どもの発達と学習の課程を学ぶことを目的とする。						
担当講師	氏名 安松純子		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	病院にて臨床心理士として勤務。講義では親・子心理や子どもの虐待と対応の仕方など行う。						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 前期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	心理学の知識を学ぶことを通して、保育において心理学の視点を生かせるようになることを目標とする。人はどのように学習を行っていくのかということや、どのように人間関係を築いていくのかを学ぶ。						
準備学習の内容	あらかじめテキストを熟読しておくこと。心理学の知見を実際に保育現場でどのように活用できるかを考えること。						
授業の進め方	講義形式、絵本タイム、グループワーク・発表などを組み合わせながら進めていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	“学ぶこと”の始まり（教育心理学序論）	1時間
2	発達の原理、発達段階と発達課題	1時間
3	学びの仕組み	1時間
4	学ぶ意欲	1時間
5	乳児期、幼児期、の発達	1時間
6	児童期の発達	1時間
7	学習集団の理解	1時間
8	学習形態の種類と学習評価の方法	1時間
9	いじめの理解と対応	1時間
10	発達障害の見立てと対応	1時間
11	“親”心理と“子ども”心理	1時間
12	教える者のメンタルヘルス	1時間
13	子どもの虐待とその対応 ①（概論）	1時間
14	②（司法論と福祉論）	1時間
15	総括と考査	1時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポートに関して、内容の首尾一貫性、設題に的確に答えているかという点と、説得力のある自分なりの考えを記述できるかを中心に評価する。科目終末試験に関しては、設題の意図を的確に反映しているかどうかという点と、自分なりの考え、意見を記述できるかという点を中心に評価する。

使用教材・参考文献等

『保育に生かす教育心理学』伊藤健次編 『教育心理学を愉しむ』宮原英種・宮原和子著

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	健康指導法（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	「健康」に関する保育内容および方法を実践的に探究し、基礎的な知識、技能を学ぶ。						
担当講師	氏名 森 俊弘		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	15	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	「健康」に関する保育内容および方法を実践的に探究し、基礎的な知識、技能を学ぶ。						
準備学習の内容	子ども、幼児、健康、子育て、からだ、スポーツ、体育などをキーワードとした新聞やインターネットの情報について日常的に興味・関心を持つようにすること。						
授業の進め方	幼稚園教育要領や保育所保育指針における「健康」領域の中核的な保育内容となる「運動遊び」と「基本的生活習慣」に関する保育者の指導・援助の在り方をテーマに学んでいく。						

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	健康の概念、教育要領、保育所保育指針における「健康」領域	1時間
2	乳児の運動発達① 反射的運動の段階	2時間
3	乳児の運動発達② 初歩的運動の段階	2時間
4	乳児の運動発達① 基本的運動の段階	2時間
5	運動あそびの指導計画の作成と指導法	4時間
6	事故防止と安全対策	2時間
7	まとめの課題	2時間
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
面接授業中に提示する課題レポート（40%） まとめ課題レポート（60%）

使用教材・参考文献等
内閣府、文部科学省、厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針』 厚生労働省『保育所保育指針解説書』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	人間関係指導法（面接）		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	子どもの人間関係形成をめぐる諸課題について理解を深め領域「人間関係」の内容・意義について学習する。						
担当講師	氏名 峯 有市		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	臨床心理士を取得し病院に勤務。人間関係形成について講義を行う						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	領域「人間関係」に関する教育・保育内容および指導に関する知識・技術を習得する。子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。						
準備学習の内容	子どもの人間関係形成をめぐる諸課題について理解を深め領域「人間関係」の内容・意義について学習する。						
授業の進め方	幼稚園教育要領および保育者保育指導の領域「人間関係」を熟読すること。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	領域「人間関係」の観点	1時間
2	領域「人間関係」のねらいと内容並びに構造	1時間
3	自己の形成と他者理解	1時間
4	集団における自己の発達	1時間
5	社会性の発達と遊び	2時間
6	協力・競争・排除	2時間
7	思いやりと道徳性の芽生えと集団生活に必要な規範	2時間
8	子どものコミュニケーション	2時間
9	保育者の役割と指導について	2時間
10	まとめ	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業への積極的参加（発表等）（30%） 試験（70%）

使用教材・参考文献等

授業中、資料を配布する

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	幼児と健康（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	幼児期の運動遊びを追体験し運動あそびのもつ教育的意義について学ぶ。						
担当講師	氏名 森 俊弘		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	運動遊びのねらいを実現するために必要な効果的な指導技術を習得する。						
準備学習の内容	幼児期の運動遊びを追体験する。習熟に時間を要する課題については、早めに取り組む。						
授業の進め方	グループワークを中心とした指導計画の作成を通して運動遊びに関する実践的指導力の向上を図る。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	オリエンテーション、アイスブレイキングゲーム	1時間
2	コミュニケーションゲーム	1時間
3	乳幼児期の運動発達と指導計画の作成について	2時間
4	運動遊びの指導計画の作成	4時間
5	運動遊びの指導計画の実践	4時間
6	運動遊びの指導計画のテーマ	2時間
7	まとめ	1時間
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実技中のグループワークへの取り組み（30%） 乳幼児期における運動遊びの意義についての記述レポート（35%） 年長児を対象にした運動遊びの指導計画（遊びの説明、指導上の留意点）の作成（35%）

使用教材・参考文献等

厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館 学校体育研究同志会編『乳幼児運動遊びの進め方』創文企画 黒井信隆、山本秀人編『0歳～5歳児のための運動遊び』いかだ社

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	教育原理	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	教育の本質・意義・機能に関する知識・理論を習得する。					
担当講師	氏名	山田典昭	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生 期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	教育の本質・意義・機能に関する理論的知識を習得する。現代社会における教育の諸課題について考察する力を身につける。幼児期の教育の基本原則とその特徴を理解する。					
準備学習の内容	教育学の基礎知識をしっかりと頭に入れるという意識が重要。そのうえで現代社会における教育の課題について考察し、自分の考えをまとめておく必要がある。					
授業の進め方	教育の本質・意義・機能に関する知識・理論を習得する。					

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	教育学の諸概念及び教育の目的・目標	1時間
2	教育の構成要素（子ども・教師家庭学校）とその相互関係	2時間
3	家族と社会による教育の歴史	2時間
4	近代国民国家の成立と教育制度：西欧と日本の歴史的経緯	2時間
5	現代社会における教育課題：変容する「家族」「学校」と子どもの生活	2時間
6	家庭や子どもに関する教育思想	2時間
7	学校や学習に関する教育思想	2時間
8	教育思想のみられる幼児教育：ペスタロッチ、フレーベル、オウエン、倉橋など	2時間
9	近年の教育政策の動向：「教育改革」の現状と課題	2時間
10	公教育制度の原理及び理念	2時間
11	公教育制度と教育関係法規	2時間
12	教育制度と教育行政の理念と仕組み	2時間
13	地域との連携・協働と学校教育活動	2時間
14	開かれた学校づくりの意義と課題	2時間
15	学校安全と危機管理	2時間
16	テスト	1時間
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート 科目終末試験

使用教材・参考文献等

本学テキスト『教育原理』 文部科学省著『幼稚園教育要領解説』 広田照幸著『教育学（ヒューマニティーズ）』天野郁夫編『教育への問い現代教育学入門』 佐伯生群著『幼児教育へのいざない』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程
科 目 名	造形表現（指導法）	授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	様々な素材や表現方法の基礎知識と造形教育指導の実践的な習得を目指す。		
担当講師	氏名 松添恭子	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験	保育園にて保育教諭として勤務。保育現場での経験をもとに造形表現の指導にあたる。		
時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	幼稚園教育において、育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された「表現」のねらい及び内容について、背景となる造形表現と関連させ理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。		
準備学習の内容	安全な材質や材料の選択と表現目的に応じた材料選び 作品制作課題・講義内容への理解力（課題内容・条件を理解して制作に取り組む）		
授業の進め方	基礎的美術表現技法の習得幼児教育現場で活用されている美術表現技法のについて理解を深め作品制作工程の記録、制作意図、感想文の記述を通し、作品と鑑賞の表現を行う。		

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	造形表現授業の概要 絵画表現について（スライム）	1時間
2	絵画表現技法の実践 ①スクラッチ	2時間
3	②スタンピング、ドリッピング	2時間
4	造形表現の発達段階（レポート①）	2時間
5	絵画表現技法の実践 ③マーブリング	2時間
6	表現技法について（レポート②）	2時間
7	絵画表現技法の実践 ④コラージュ	2時間
8	廃材利用のおもちゃ「楽器づくり」	2時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

通信課題 レポート課題（幼児の造形表現の発達段階・美術表現技法）（30%）
作品評価（感想文含む）（70%）

使用教材・参考文献等

本学テキスト『造形表現（指導法）』 『造形表現（指導法）』
面接授業スクーリングで配布したプリント 『事例で学ぶ保育内容領域「表現」』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	造形表現（指導法）（面）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	様々な素材や表現方法の基礎知識と造形教育指導の実践的な習得を目指す。						
担当講師	氏名	松添 恭子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	保育園にて保育教諭として勤務。保育現場での経験をもとに造形表現の指導にあたる。						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	幼稚園教育要領に示された「表現」のねらい及び内容について背景となる造形表現と関連させて理解を深めると共に、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面想定して保育を構想する方法を身に付ける。						
準備学習の内容	幼稚園教育の基本、表現領域のねらい及び内容を理論と実践を通して理解する。また造形表現の技法、身近な素材への応用など具体的な指導場面を想定して保育を構想する。						
授業の進め方	作品制作を通して自己を表現する楽しさを知り、育児造形の表現理解を深め、子どもとの創作活動に役立つ様々な素材や表現方法の基礎知識と造形教育指導の実践的な習得を目指す。						

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	幼稚園教育の基本、「表現」領域のねらい及び内容並びに全体構造の理解	1時間
2	「表現」領域のねらい及び内容、幼児が身に付けていく内容と指導上の留意点の理解	1時間
3	幼稚園教育における評価の理解	1時間
4	「表現」領域で幼児が経験する内容の関連性と小学校の教科等とのつながりの理解	2時間
5	幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた表現領域における保育構想の重要性と理解	2時間
6	「表現」領域の特性、保育における情報機器及び教材の活用法	2時間
7	指導案の構成、具体的な保育を想定した指導内容と作成の理解	2時間
8	模擬保育とその振り返り、保育を改善する視点への理解	2時間
9	「表現」領域の特性に応じた保育実践の動向と保育構想の向上への取り組みと理解	1時間
10	「造形と表現」実体験からの創作と表現・試験	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
課題作品、感想文（70%） 材料、道具、授業準備、積極的参加（30%）

使用教材・参考文献等
『図画工作』『造形表現(指導法)』 富山典子 『絵画遊び技法百科』 林健造 『保育の中の造形表現』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	音楽表現（指導法）（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	音・音楽による表現を主として、様々な角度から音楽表現について考える。また様々な音楽あそびを年齢・ねらいに応じて展開し、あそび歌・絵描き歌などオリジナルの創作・発表を行う。						
担当講師	氏名 前田奈緒		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	音楽表現の観点から幼児の発達や学びの過程を理解し実践的な指導法を身に付けるための必要な基礎的な知識、技能を習得する。						
準備学習の内容	「表現」領域の中核的な保育内容である「表現遊び」の中から、音楽表現に関する「あそび」について保育者の指導・援助のあり方、その方法を検討する。						
授業の進め方	音・音楽による表現を主として、様々な角度から音楽表現について考える。また様々な音楽あそびを年齢・ねらいに応じて展開し、あそび歌・絵描き歌などオリジナルの創作・発表を行う。						

回数	授業内容	授業時間
1	教育要領、保育指針における領域「表現」	1時間
2	幼児と音楽との関わり、幼児の指導法、保育者の指導上の留意点	1時間
3	幼児の理解と評価	1時間
4	音楽表現あそびの教材・情報収集	2時間
5	音楽表現あそび（手遊び・歌遊び）	2時間
6	表現遊びの指導計画	2時間
7	模擬保育発表及び指導・援助についての振り返り	2時間
8	様々な素材を使った音楽あそびドレミパイプ	2時間
9	小学校音楽の授業につながる音楽あそび	2時間
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

模擬授業の発表内容（40%） 指導計画の記述内容（30%） その他課題の記述内容（30%）

『幼稚園教育要領・保育園保育指針・幼保連携認定こども園教育・保育要領』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	環境指導法（面接）		授業方法	■ 講義 ■ 演習 □ 実習			
授業概要	領域「環境」について解説し、子どもたちを取り巻く環境や問題について考察する。また動物園実習を通して命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人ひとりの発達の特性に合った総合的な指導力を養う。						
担当講師	氏名	岩永加寿恵		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園での勤務経験があり、講義では子どもたちの発達における環境の重要性について行う						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 通年
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	領域「環境」のねらいを念頭に、様々な環境に関わる保育の内容及び指導に関する知識・技術・ICT機器の活用法を取得する。子どもの発達における環境の重要性と幼稚園教育における評価、小学校の科目とのつながりについて理解する。						
準備学習の内容	小学校の科目とのつながりについて理解し、領域「環境」のねらいについて学習する。動物園実習を通して、命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人ひとりの発達の特性に合った総合的な指導力を養う。						
授業の進め方	子どもたちを取り巻く環境の現状や問題点について考察し、具体的生活体験を重視した保育指導力育成のための実践的授業や環境教育を視野に入れた授業を実施。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	幼稚園教育の基本と領域「環境」のねらいと内容、構造・留意点	2時間
2	幼稚園教育における評価と領域「環境」	2時間
3	グループ活動による人間環境	11時間
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

「この授業（環境）で学んだこと」という課題レポート

使用教材・参考文献等

『保育内容「子どもと環境」』同文書院 『幼稚園教育要領・保育所保育指針』（原本）

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	環境指導法（面接）		授業方法	■ 講義 ■ 演習 □ 実習			
授業概要	領域「環境」について解説し、子どもたちを取り巻く環境や問題について考察する。また動物園実習を通して命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人ひとりの発達の特性に合った総合的な指導力を養う。						
担当講師	氏名 岩永加寿恵		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園での勤務経験があり、講義では子どもたちの発達における環境の重要性について行う						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 通年
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	領域「環境」のねらいを念頭に、様々な環境に関わる保育の内容及び指導に関する知識・技術・ICT機器の活用法を取得する。子どもの発達における環境の重要性と幼稚園教育における評価、小学校の科目とのつながりについて理解する。						
準備学習の内容	小学校の科目とのつながりについて理解し、領域「環境」のねらいについて学習する。動物園実習を通して、命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人ひとりの発達の特性に合った総合的な指導力を養う。						
授業の進め方	子どもたちを取り巻く環境の現状や問題点について考察し、具体的生活体験を重視した保育指導力育成のための実践的授業や環境教育を視野に入れた授業を実施。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	幼稚園教育の基本と領域「環境」のねらいと内容、構造・留意点	2時間
2	幼稚園教育における評価と領域「環境」	2時間
3	グループ活動による人間環境	11時間
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

「この授業（環境）で学んだこと」という課題レポート

使用教材・参考文献等

『保育内容「子どもと環境」』同文書院 『幼稚園教育要領・保育所保育指針』（原本）

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	環境指導法（面接）		授業方法	■ 講義 ■ 演習 □ 実習			
授業概要	領域「環境」について解説し、子どもたちを取り巻く環境や問題について考察する。また動物園実習を通して命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人ひとりの発達の特性に合った総合的な指導力を養う。						
担当講師	氏名 岩永加寿恵		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園での勤務経験があり、講義では子どもたちの発達における環境の重要性について行う						
時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	期 通年
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	領域「環境」のねらいを念頭に、様々な環境に関わる保育の内容及び指導に関する知識・技術・ICT機器の活用法を取得する。子どもの発達における環境の重要性と幼稚園教育における評価、小学校の科目とのつながりについて理解する。						
準備学習の内容	小学校の科目とのつながりについて理解し、領域「環境」のねらいについて学習する。動物園実習を通して、命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人ひとりの発達の特性に合った総合的な指導力を養う。						
授業の進め方	子どもたちを取り巻く環境の現状や問題点について考察し、具体的生活体験を重視した保育指導力育成のための実践的授業や環境教育を視野に入れた授業を実施。						

回数	授業内容	授業時間
1	幼稚園教育の基本と領域「環境」のねらいと内容、構造・留意点	2時間
2	幼稚園教育における評価と領域「環境」	2時間
3	グループ活動による人間環境	11時間
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
「この授業（環境）で学んだこと」という課題レポート

使用教材・参考文献等
『保育内容「子どもと環境」』同文書院 『幼稚園教育要領・保育所保育指針』（原本）

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	言葉（指導法）（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育内容・言葉の「目標」「ねらい」「内容」を理解し、保育者としての子どもとの関わり方についての具体的な実践方法について検討し、実践できる力を体得する。						
担当講師	氏名 山田智子		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	人間にとって言葉（言語）の役割・言語獲得の理論を理解し、説明できる。子どもの言葉を育む適切な環境について理解し、保育者としての子どもとの関わり方を身に付け、実践できる。						
準備学習の内容	言葉の「目標」「ねらい」「内容」を理解し、保育者としての子どもとの関わり方についての具体的な実践方法について検討し、実践できる力を身に付けることを目指す。						
授業の進め方	保育者としての子どもとの関わり方について具体的な実践方法について検討し、実践できる力を身につけることを目指す。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	人間にとって言葉とは何か	1時間
2	言語獲得の諸理論—生得説／環境説・養育放棄事例における子どもの言語獲得	1時間
3	保育内容・言葉を理解する視点としてのコミュニケーション	1時間
4	保育内容・言葉「ねらい」の理解	1時間
5	保育内容・言葉「内容」の理解	1時間
6	配慮を要する子どもの言葉と支援	2時間
7	言葉を通じた楽しい関わり	2時間
8	子どもの言葉をひきだす保育者の関わり	2時間
9	物語と子どもの表現力・文字への気づき	2時間
10	子どもの言葉を育む保育実践の構想と実践	2時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

1日目レポート（45%） 2日目レポート（45%） 授業への参加、発言等（10%）

使用教材・参考文献等

厚生労働省『保育所保育所保育指針解説書』 文部科学省『幼稚園教育要領解説書』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程					
科目名	幼児と言葉	授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習					
授業概要	言葉の指導の基盤となり、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるための専門的事項に関する知識を身につける。							
担当講師	氏名 桑原亜矢子	■ 実務経験を有する教員						
実務経験	幼稚園での勤務経験があり、講義では言葉の楽しさや美しさについて行う							
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期	前期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択				
到達目標	人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について説明できる。言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について、基礎的な知識を身に付ける。							
準備学習の内容	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身につける。							
授業の進め方	言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について基礎的な知識を身につける。							

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	言葉の意義や機能	1時間
2	言葉の発達と理解	1時間
3	絵本を活かした保育と絵本の紹介	1時間
4	お話しづくり	2時間
5	幼児における児童文化財の意義	2時間
6	子どもの言葉と表現力	1時間
7	読み聞かせの意義と魅力	2時間
8	読み聞かせの実践における工夫	2時間
9	言葉を楽しむための言葉遊び、文字遊び	2時間
10	言葉の発達と表現力	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

1日目レポート（45%） 2日目レポート（45%） 授業への参加、発言等（10%）

使用教材・参考文献等

厚生労働省『保育所保育所保育指針解説書』 文部科学省『幼稚園教育要領解説書』
渡辺茂男『心に緑の種をまくー絵本のたのしみ』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	幼児と人間関係		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	「人間関係」に関する知識の習得、子どもの個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら具体的な指導を行う。						
担当講師	氏名 松崎邦彦		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	幼児を取り巻く人間関係を把握し、支援が必要なポイントを理解する。						
準備学習の内容	幼稚園教育要領・保育指針の領域「人間関係」の部分を読み込み、ポイントとなる部分を整理して把握しておく。						
授業の進め方	幼児を取り巻く人間関係を把握し、仲間集団の成長に配慮しながら具体的な指導を行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	「人と関わる力」と子どもの成長	2時間
2	現在の自分を取り巻く人間関係を整理する	1時間
3	地域社会の変容・現状	1時間
4	家庭環境の変容・現状	1時間
5	発達過程に応じた人との関わり①乳児期を中心に	2時間
6	発達過程に応じた人との関わり①幼児期を中心に	2時間
7	仲間集団と道徳性の育ち	2時間
8	子どもが自己表現できる集団づくりー保育者の関わり方の基礎	2時間
9	保育者との信頼関係	1時間
10	地域社会の人々との交流	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業への積極的参加（発表等）（30%） 試験（70%）

使用教材・参考文献等

『幼稚園教育要領・保育園保育指針・幼保連携認定こども園教育・保育要領』
 広田照幸『日本人のしつけは衰退したか』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	幼児と環境		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	幼児教育の基本及び領域のねらい、内容・変遷について学習する。						
担当講師	氏名 福菌恵子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	子育て施設で勤務。現場での経験をもとに自然環境、社会環境について指導にあたる						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	「環境との関わる力」の発達について理解を深め、「環境」の変遷について知り、子どもの育ちにとって大切にされているものを知る。						
準備学習の内容	幼稚園教育要領・保育指針の領域「環境」の部分を読み込み、ポイントとなる部分を整理して把握しておく。						
授業の進め方	自然環境や社会環境などの具体的な生活体験を重視した保育、特に子どもと関わりを深める保育を自ら設定し実践的に指導する。						

回数	授業内容	授業時間
1	人間環境① 知る：自分を取り巻く環境	2時間
2	人間環境② 体験する：自分が安心を感じるスペース	2時間
3	人間環境③ 理解する：他者が自分に与える影響	2時間
4	人間環境④ 応用する：自分が周りに与える影響	1時間
5	自然環境① 知る：幼児にとっての自然環境	2時間
6	自然環境② 体験する：五感を使って自然を感じる	2時間
7	自然環境③ 理解する：自然や生き物への理解を深める	2時間
8	自然環境④ 応用する：身近な自然を保育に活かす	2時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

「この授業（環境）で学んだこと」という課題レポート

『保育内容「子どもと環境」』同文書院 『幼稚園教育要領・保育所保育指針』（原本）
--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	児童文化		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	児童文化の歴史や環境を学び、子どもたちに伝えたい伝統文化とは何かを考えながら、伝承に役立つ作品を作る。						
担当講師	氏名	岩永加寿恵		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園での勤務経験があり、現場での経験をもとに児童文化の必要性について講義を行う						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	児童文化の重要性を十分に認識し、内容を把握し、自分自身も様々な児童文化に触れ、この分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。						
準備学習の内容	普段から児童文化や児童文化財に触れ、子どもたちにとって望ましい児童文化や児童文化財に興味・関心を持つ。						
授業の進め方	本学テキストを熟読し、児童文化の歴史や現在の取り巻く環境を学び様々な児童文化財について、与え方や作り方などをしっかり学習する。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	「児童文化」「児童文化財」とは何か。子どもの育ちと児童文化について	1時間
2	保育における遊びの意義。スポーツと遊びの関連性	2時間
3	伝承遊び1 わらべうた ことばあそびを知る	2時間
4	伝承遊び2 折り紙 めりえの活用	2時間
5	読み聞かせの意義と留意点 絵本、童話、児童文学を知る	2時間
6	紙芝居とシアタースタイルの児童文化を知る	2時間
7	子どものあそびとメディア	2時間
8	児童文化の施設と活動	1時間
9	テスト	1時間
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート、科目終末試験については、設題で何が求められているかを理解し、その内容がうまくまとめられていることが、良い評価となる。科目終末試験については、本学テキスト「児童文化」にそってまとめられているかどうか、評価の基準である。

使用教材・参考文献等

本学テキスト『児童文化』 『新版児童文化』 青木寛・小林美実・土橋美歩

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	児童文化（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	児童文化の歴史や環境を学び、子どもたちに伝えたい伝統文化とは何かを考えながら、伝承に役立つ作品を作る。						
担当講師	氏名 岩永 加寿恵		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園での勤務経験がある。現場での経験をもとに児童文化について実技を用いながら講義を行う						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	児童文化の領域の存在意義は極めて大きい。この重要性を十分に認識し、内容を把握し、時間の許す限り、実習も行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。						
準備学習の内容	普段から児童文化や児童文化財に触れ、子どもたちにとって望ましい児童文化や児童文化財に興味・関心を持つ。						
授業の進め方	講義内容として、児童文化とは何か、歴史を追いながら考えるとともに、現在の児童文化についての知識を深める。更に、グループ活動で、子どもたちのための児童文化財を制作する。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	児童文化とは何か。児童憲章における児童文化。歴史に見る子どもの存在	1時間
2	日本での児童文化の確立。現代の児童文化。	1時間
3	グループに分かれ児童文化財の制作①	5時間
4	グループに分かれ児童文化財の制作②	
5	グループに分かれ児童文化財の制作③	
6	グループに分かれ児童文化財の制作④	
7	グループに分かれ児童文化財の制作⑤	
8	部分的な指導計画案作成および練習	6時間
9	グループ毎で部分演習①	
10	グループ毎で部分実習②	
11	グループ毎で部分実習発表	2時間
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

グループ毎に部分実習における指導案を作成する。個別に部分実習の反省と、それぞれのグループの評価をする。以上の2点を加え、総合的に評価する。

使用教材・参考文献等

『児童文化』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程		
科 目 名	社会福祉	授業方法	■ 講義	□ 演習	□ 実習
授業概要	社会福祉について具体的な事例等を通して、学び理解する。				
担当講師	氏名 中村邦洋	■ 実務経験を有する教員			
実務経験	病院のソーシャルワーカーとしてとして業務を行い現場の経験をもとに社会福祉の指導にあたる。				
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年 1 年生 期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般	履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	現代における社会福祉の全体像を理解し、当事者（社会的な支援が必要な本人とその家庭）への具体的な支援の実例を通して、社会福祉の全体像を理解することを目標とする。				
準備学習の内容	新聞記事等に目を通し、今日の社会状況に関心を持つ。また日頃から福祉に関する書籍を読むなど福祉に関心を持つ。				
授業の進め方	基本テキストを熟読し、課題について考え、新聞記事等で社会福祉関係のニュースに目を向け、様々な情報を収集する。				

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	社会福祉とは何か ①語源からの理解と用語の整理	2時間
2	社会福祉とは何か ②歴史的系譜、措置から契約	2時間
3	日本の社会福祉の歴史 ①第2次世界大戦まで	2時間
4	日本の社会福祉の歴史 ②第2次世界大戦以降	2時間
5	社会保障制度 社会保障の体系、社会保険、公的扶助	2時間
6	低所得者福祉 ①貧困の理解と生活保護制度	2時間
7	低所得者福祉 ②生活保護の関連事業と低所得者対策	2時間
8	障害者福祉 障害者福祉の考え方と支援制度	2時間
9	高齢者福祉 高齢者を取り巻く現状と法制度	2時間
10	子どもの福祉 ①少子化対策と法制度	2時間
11	子どもの福祉 ②専門職と機関、母子保健 子どもの貧困	2時間
12	地域福祉	2時間
13	医療福祉	2時間
14	精神保健福祉	2時間
15	まとめ・試験	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート（30%） 筆記試験（70%）

使用教材・参考文献等

鬼崎信好編『コメディカルのための社会福祉（第4版）』
社会福祉養成講座編集委員会編『相談援助の理解と方法①』など

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	子ども家庭福祉		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	子どもの家庭に関する福祉について、歴史、法体系、制度・施策などを取り上げ、総合的に学習していく。また現代の子どもを取り巻く社会や環境において、保育者としての子どもの権利を尊重し、子どもの最大の利益をはかる支援についてまとめていく。						
担当講師	氏名	里 武	■ 実務経験を有する教員				
実務経験	児童発達支援事業所で勤務経験があり、子どもの最善の利益をはかるための知識などについて講義を行う						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	子どもの家庭福祉の課題について総括的に考察できる力を養う。また保育者として子どもの最善の利益をはかるための基礎的な知識を習得する。						
準備学習の内容	新聞やTVで放送される子どもや家庭に関する事柄について関心を向け、今日的な課題について理解を深める。						
授業の進め方	児童を取り巻く社会的環境や児童福祉に関する法制度、サービスについて学び、子どもの家庭福祉の現状と課題について考える。						

回数	授業内容	授業時間
1	子どもと家庭福祉の概念	2時間
2	児童養護施設について	6時間
3	放課後等デイサービスについて	6時間
4	保育所について	6時間
5	こどもの貧困について	6時間
6	授業総括・試験	4時間
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
レポート提出、科目終末試験の結果に基づいて評価する

使用教材・参考文献等
大津泰子著『児童家庭福祉第3版』 櫻井奈津子編『学ぶ・わかる・みえる保育と現代社会 保育と児童家庭福祉』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	音楽（理論）		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	音楽の理論や知識について学ぶ。						
担当講師	氏名 前田奈緒		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 通年
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	楽譜が読めるようになるための基礎を学ぶ。自分の力でレパートリーを増やし、保育・教育現場でよい音楽を演奏するためにも基礎をしっかり身につける。						
準備学習の内容	日頃から音楽に関心を持ち、楽譜を読み解けるようにする。						
授業の進め方	楽譜が読めるようになるための基礎を学ぶ。自分の力でレパートリーを増やし、保育・教育現場でよい音楽を演奏するためにも基礎をしっかり身につける。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	音の種類と特質	1時間
2	譜表	1時間
3	音符・休符と連符	1時間
4	拍子とリズム	2時間
5	変化記号 速度標語 強弱記号	1時間
6	音程	2時間
7	楽譜 省略法 装飾音 装飾記号 発想標語	1時間
8	音階と調	2時間
9	和声	1時間
10	楽式	1時間
11	演奏 簡易リズム楽器とその演奏方法	2時間
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

科目終末試験

使用教材・参考文献等

『音楽理論』 『音楽理論レポート設題集』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	保育原理		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	保育の意義、歴史、理論、指針など保育者に必要とされる知識、姿勢について学ぶ。						
担当講師	氏名 栗山 健		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	保育園で勤務。保育現場での経験をもとに保育の基本、内容と方法などの指導にあたる。						
時間数	30 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、保育の内容と方法の基本、保育の思想と歴史の変遷について、基本的な内容を理解する。また、保育の現状と課題について考察する。これらを通して、保育の本質を探究し、保育に対する自分なりの見識をもつことを目標とする。						
準備学習の内容	テキストを通読する。重要だと思われる部分にラインを引いたり、章ごとに要点をまとめるなど学習する。						
授業の進め方	保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、保育の内容と方法の基本、保育の思想と歴史の変遷について、基本的な内容を理解する。また、保育の現状と課題について考察する。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	「保育とは」保育の意義について考える	2時間
2	保育の目的・保育内容・保育の方法	2時間
3	乳幼児期の発達の特徴と遊びについて	2時間
4	保育所保育指針について①（子どもの姿を中心に）	2時間
5	「保育の計画・評価」について	2時間
6	「保育計画の作成」記入上の要点をおさえる	2時間
7	保育思想と児童観の変遷	2時間
8	古代、中世、近世、近代	2時間
9	我が国における幼稚園・保育所の成立と変遷	2時間
10	レポート 1	2時間
11	保育所保育指針について②	2時間
12	教育・保育施設の役割、保育士の役割	2時間
13	レポート 2	2時間
14	総括「保育とは」	2時間
15	まとめ・試験	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート 科目終末試験

使用教材・参考文献等

『保育原理』 田代勢津子

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	社会的養護 I		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	児童の生存権、発達権を保障し、健全育成を目指すために福祉における社会的養護の基本的なあり方を学ぶ。						
担当講師	氏名	伊東俊祐		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	児童福祉施設勤務。現場での経験もとに人権擁護、社会的養護の制度、自立支援等について講義を行う						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	児童の生存権、発達権を保障し、健全育成を目指すために福祉における社会的養護の基本的なあり方を目標とする。						
準備学習の内容	新聞、テレビ等を観て、社会で起こっていることを情報収集する。						
授業の進め方	新聞やテレビ等の社会的養護に関することについて関心を持ち、考える習慣を身につける。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	社会的養護の理念と概念	2時間
2	社会的養護の歴史の変遷	2時間
3	児童家庭福祉の一分野としての社会的養護	2時間
4	児童の洋権利擁護と社会的養護	2時間
5	社会的養護の制度と法体系	2時間
6	社会的養護の仕組みと実施体系	2時間
7	家庭養護と施設養護	2時間
8	社会的養護の専門職・実施者	2時間
9	施設養護の基本原則	2時間
10	施設養護の実際 児童虐待	2時間
11	施設養護とソーシャルワーク	2時間
12	施設等の運営管理の現状と課題	2時間
13	社会福祉の倫理	2時間
14	社会的養護と地域福祉の現状と課題	2時間
15	総括・単位認定考査	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート提出、科目終末試験の結果に基づいて評価する

使用教材・参考文献等

相澤仁・林浩康編『社会的養護 I 新・基本保育シリーズ6』
山縣文治・林浩康編『よくわかる社会的養護』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	社会的養護Ⅱ（面接）		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	施設における日常生活援助、施設保育士の専門性など施設保育者としての役割や意義を学ぶ。						
担当講師	氏名	伊東俊祐		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	児童福祉施設勤務。現場での経験もとに人権擁護、社会的養護の制度、自立支援等について講義を行う						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	社会的養護の原理と原則を踏まえて、養護施設の機能と役割を考え、自立支援計画の作成を行い、事例を通して、施設保育者の役割と意義について学ぶことを目標とする。						
準備学習の内容	新聞、テレビ等を観て、社会で起こっていることを情報収集する。						
授業の進め方	家庭的養護と施設の小規模化について理解を深め、特に障害や虐待により人との信頼関係構築が難しい児童を支援するための知識や技能を習得し施設養護観の形成を目指す。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	児童の権利擁護 児童の最善の利益について考える。	1時間
2	里親制度の特性と養育の実際	1時間
3	乳児院・児童養護施設・ファミリーホームの養育をめぐる状況と支援の実際	1時間
4	一人親家庭、母子生活支援施設と支援の事態	1時間
5	情緒障害のある子どものための施設と支援の実際	2時間
6	障害児施設（入所・通所）療育と支援の実際	2時間
7	自立支援計画 子どもへの専門職とのつながり	2時間
8	里親・ファミリーホーム地の専門機関とのつながり	1時間
9	虐待された子どもへの支援	2時間
10	施設と家庭との関わりと地域の連携	2時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

試験結果（50%） レポート課題（30%） 授業への積極的参加（20%）

使用教材・参考文献等

小木曾宏ほか編『よくわかる社会的養護内容 第3版』
 吉田真理著『児童の福祉を支える＜演習＞社会的養護内容第3版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	子どもの家庭支援論		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解しこれからの家族のあり方、役割を考える。						
担当講師	氏名 本村尚子		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	保育士として勤務経験があり、現場経験を活かし子育て支援について講義を行う						
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	保育の専門性を活かした子どもの家庭支援の意義と基本について理解し子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解を深める。						
準備学習の内容	テキストを熟読するとともに、新聞などメディアを通じて、現実の社会状況を知るように努める。						
授業の進め方	保育の専門性を活かした子どもの家庭支援の意義と基本について理解し子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解を深める。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	子どもの家庭支援の意義と役割	2時間
2	子ども家庭支援の意義と必要性	2時間
3	子ども家庭支援の目的と機能	2時間
4	保育士による子ども家庭支援の意義と基本	2時間
5	保育の専門性を活かした子ども支援とその意義	2時間
6	子どもの育ちの喜びの共有	2時間
7	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	2時間
8	保育士に求められる基本的態度（受容的関わり、自己決定の尊重、秘密保持等）	2時間
9	家庭の状況に応じた支援	2時間
10	地域の資源の活用と自治体・関係機関との連携、協力	2時間
11	子育て家庭に対する支援の体制	2時間
12	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	2時間
13	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	2時間
14	多様な支援の展開と関係機関との連携	2時間
15	子どもの家庭支援の内容と対象	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

・レポート ・ 科目終末試験

使用教材・参考文献等

橋本真紀編著「よくわかる家庭支援論 第2版
草野いつみ編著「みんなで考える家庭・家庭支援論」

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	幼児への特別な支援		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	子どもの運動感覚経験を知的情緒的な背景に考慮しつつ、また対人関係的障害等について理解を深め障がい児の発達支援を促す保育的支援について学習する。						
担当講師	氏名	山田星三		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	児童発達支援事業所で勤務。特別の支援を必要とする幼児の心身の発達と支援の方法について講義を行う						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	子どもの発達の原理を理解し、障害種ごとの症状、原因、心理、保育の留意点について理解を深める。						
準備学習の内容	テキストを読んでおく。各自特別支援教育や障がい児保育に関する書籍を積極的に読むこと。						
授業の進め方	子どもの精神運動発達及び脳の発達との関連性について学び、それを基礎として子どもの感覚・運動・知的・情緒面、また対人関係的障がいについて理解を深めていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	正常発達のメカニズム	1時間
2	脳の仕組みを学ぶ（脳・脊髄反射）	1時間
3	中枢神経疾患と整形外科的疾患を学ぶ	1時間
4	赤ちゃんの接し方（抱き方、寝かせ方、食べさせ方他）	2時間
5	脳性麻痺時の理解（異なるタイプ児の取り扱い方）	2時間
6	発達障がい児の理解（異なるタイプ児を理解し接し方を学んでいく）	2時間
7	個別支援計画の重要性について学び演習（グループワーク）	2時間
8	家族支援の重要性について学ぶ（兄弟児への支援も含む）	2時間
9	ペアレントトレーニングについて学ぶ	2時間
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート 科目終末試験

使用教材・参考文献等

尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子編『よくわかる障害児保育』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	障害児保育		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	子どもの感覚的・身体運動的・知的・情緒的・対人関係的障害等についての理解を深め、障害児の発達の变化を促す保育的援助について学習する。						
担当講師	氏名	山田星三		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	児童発達支援事業所で勤務。障害児保育の実際や保護者への支援について講義を行う						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	子どもの発達の原理を理解し、障害種ごとの症状、原因、心理、保育の留意点について理解を深める。						
準備学習の内容	テキストを熟読しておく。各自特別支援教育や障害時保育に関する書籍を積極的に読むこと。						
授業の進め方	障がい児保育の授業では、子どもの心身の発達及び脳の発達について学び、それを基礎にして子どもの感覚的、身体的、知的、情緒的、対人関係的障害について理解を深めていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	発達と障害	1時間
2	脳の仕組み発達	1時間
3	視覚障害と保育	1時間
4	聴覚障害と保育	1時間
5	言葉の障害と保育	2時間
6	身体的・運動的機能障害と保育	2時間
7	知能障害と保育	2時間
8	学習障害・注意欠損症多機能障害と保育	2時間
9	情緒・対人関係障害と保育	2時間
10	総括	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

2日間の課題レポートの成績で評価する

使用教材・参考文献等

尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子編『よくわかる障害児保育』
渡辺信一・本郷一夫・無藤隆編『障害児保育』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	子どもの食と栄養		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	保育者として子どもに適切な食事環境を提供できるよう、栄養法を理解し、各時期の特徴や、子どもを取り巻く食の問題等について学習する。						
担当講師	氏名 太田路子		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	子どもの発達の特徴、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。						
準備学習の内容	テキストは必ず目を通しておく。						
授業の進め方	保育者として子どもに適切な食事環境を提供できるよう、栄養法を理解し、各時期の特性や子どもを取り巻く食の問題、集団給食等についても理解をする。						

回数	授業内容	授業時間
1	子どもの健康と食生活の意義	1時間
2	消化と吸収について	2時間
3	栄養素の機能	2時間
4	子どもの発育・発達と食生活	2時間
5	子どもの発育・妊婦・授乳婦の栄養	2時間
6	子どもの発育・乳児栄養・乳汁栄養	2時間
7	子どもの発育・離乳食・アレルギー・偏食	2時間
8	まとめ・考査	2時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

レポート提出、科目終末試験の結果に基づいて評価する

二見大介・高野陽編『新保育ライブラリ 子どもの食と栄養』 上田玲子『新版 子どもの食生活』
--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	子どもの食と栄養（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育者として子どもに適切な食事環境を提供できるよう、栄養法を理解し、各時期の特徴や、子どもを取り巻く食の問題等について学習する。						
担当講師	氏名 太田路子		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	子どもの発達・発育の特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食、食育の重要性を理解する。						
準備学習の内容	テキストは必ず目を通しておく。						
授業の進め方	保育者として子どもに適切な食事環境を提供できるよう、各時期の特徴や栄養についてを理解し、調理の技能の習得を目指す。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	乳児期の授乳栄養について	1時間
2	調乳実習	1時間
3	離乳栄養について	1時間
4	離乳食実習	1時間
5	離乳食実習	2時間
6	幼児期の栄養について	1時間
7	幼児食実習について	2時間
8	幼児職実習（弁当、だしの取り方）	2時間
9	幼児職実習（弁当、だしの取り方）	2時間
10	小児期の食生活について（間食、食育、アレルギー対応等）	1時間
11	間食、手洗いに関する実験	1時間
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート 授業への積極的参加

使用教材・参考文献等

二見大介・高野陽編『子どもの食と栄養』
品成分表（日本食品標準成分表2015準拠のもの）

食

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程					
科 目 名	子どもの保健	授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習					
授業概要	乳幼児期の子どもについて、心身の発育・発達生理的機能等を学びその特性を学習する。							
担当講師	氏名 豊福睦子	■ 実務経験を有する教員						
実務経験	病院での勤務経験があり、子どもの病気やけがについて講義を行う							
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期	前期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択				
到達目標	子どもの保健と意義がわかり、子どもを取り巻く最近の問題点及び、今後の課題について説明できる。							
準備学習の内容	日頃から新聞やインターネット等で子どもの健康に関する情報を収集しておく。							
授業の進め方	子どもが心身ともに健全に発育するために、日頃から新聞やインターネット等で健康に関する情報を進め、私たち大人はどうあればよいか考えていく。							

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	子どもの心身の健康と保健の意義	8時間
2	・ 生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的	
3	・ 健康の概念と健康指標	
4	・ 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	
5	・ 地域における保健活動と子ども虐待防止	
6	子どもの身体的発育・発達と健康	8時間
7	・ 身体発育及び運動機能の発達と健康	
8	・ 生理機能の発達と健康	
9	子どもの心身の健康と保健の意義健康状態とその把握	8時間
10	・ 健康状態の観察	
11	・ 心身の不調棟の早期発見	
12	・ 発育・発達の把握と健康診断	
13	・ 保護者との情報共有	
14	子どもの疾病の予防及び適切な対応	5時間
15	・ 主な疾病の特徴	
16	・ 子どもの疾病の予防と適切な対応	
17	総括・考査	1時間
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
レポート提出、科目終末試験の結果に基づいて評価する

使用教材・参考文献等
テキスト竹内義博・大矢紀昭『よくわかる子どもの保健 第3版』 西村昂三編著『わかりやすい子どもの保健』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	子育て支援		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	必要とされる子育て支援・相談援助活動（社会福祉援助技術）の基礎を習得し、援助展開における援助関係形成、援助過程や各技術を効果的に活用するための理論と方法を身につける。						
担当講師	氏名	出口夕香		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	児童発達支援事業所にて勤務。現場の経験をもとに子育て支援の必要性や援助技術の方法などについて講義を行う						
時間数	15時間	単位数	1単位	学習時期	学年	2年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援についてその特性と展開を具体的に理解する。また保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。						
準備学習の内容	テキストを読みこんでおく。また保育現場で展開される相談事例などを収集しておく。						
授業の進め方	支援の内容と方法及び技術を実践事例を通して具体的に進める。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	子どもを巡る経済・社会状況（1）	1時間
2	子どもを巡る経済・社会状況（2）	1時間
3	子育て支援と行政	2時間
4	子育て支援と地域社会	2時間
5	子ども・保護者と保育士	2時間
6	関係機関・専門職等との連携・協力・協同	2時間
7	社会資源の活用・利用方法	1時間
8	社会福祉援助技術事例研究	1時間
9	社会福祉援助技術事例研究	1時間
10	授業内容の振り返り	2時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

科目終末試験（50%） レポート課題（30%） 授業への積極的参加（20%）

使用教材・参考文献等

社会福祉士養成講座編集委員会『相談援助の理解と方法①・②』
鬼塚信好編『コメディカルのための社会福祉概論（第5版）』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	劇あそび（指導法）		授業方法	■ 講義 ■ 演習 □ 実習			
授業概要	発達段階に応じた子どもの遊び（ごっこ・劇あそび）の内容と意義について学ぶ。表現活動を通し、感じたり、考えたり想像したり、創造する力を養う。						
担当講師	氏名 桑原亜矢子		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園での勤務経験があり、現場での経験をもとに表現活動の発展と指導法について指導にあたる						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	領域「表現」のねらい・内容について理解する。子どもの発達に即した遊びの過程を理解し、どの様な援助が必要か考えることができる。子どもの表現を育てる実践力と指導法を身につける。						
準備学習の内容	実践的な活動の展開ができるよう、主体的・積極的に取り組む。						
授業の進め方	基本ステップ、リトミック、リズムダンス、模倣表現、わらべ歌、自由表現、発表・鑑賞を通して、リズムを中心とした活動を展開する。						

んじよ

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	領域「表現」のねらいと内容	1時間
2	身ぶり表現の発達	1時間
3	身ぶり表現活動の発展と指導法・活動評価の考え方	1時間
4	幼児の音楽表現（保育現場での音楽・リトミック）	1時間
5	「劇あそび」の意義と役割	1時間
6	「劇あそび」における援助（イメージの表現・環境の設定・人との関わり）	1時間
7	「劇あそび」指導計画立案の要点・作成（表現あそび課題説明）	1時間
8	課題の創作（グループワーク）	5時間
9	グループ発表と鑑賞・振り返り	2時間
10	表現を育てる保育	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実技テストの成績 授業への積極的参加

使用教材・参考文献等

『幼保連携型認定こども園教育、保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	子ども家庭支援の心理学		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。						
担当講師	氏名 本村尚子		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	保育園での勤務経験がある。生涯発達に関する心理学の知識や、発達課題について講義を行う						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係について発達的な観点から理解し、子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得する。子育ての家庭をめぐる現代社会的状況と課題について理解する。子どもの精神保健とその課題について理解する。						
準備学習の内容	現在における社会的な状況を理解した上でどのような家庭支援を行えると良いか、普段から意識しておく。						
授業の進め方	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、子育て家庭をめぐる現代社会における課題について理解を深める。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	生涯発達	7時間
2	(1) 乳幼児期から学童期にかけての発達	
3	(2) 乳幼児期から学童期にかけての発達	
4	(3) 成人期・老年期における発達	
5	家族・家庭の理解	8時間
6	(1) 家族・家庭の意義と機能	
7	(2) 親子関係・家族関係の理解	
8	(3) 子育ての経験と親としての育ち	
9	子育て家庭に関する現状と課題	8時間
10	(1) 子育てを取り巻く社会的状況	
11	(2) ライフコースと仕事・子育て	
12	(3) 多様な家庭とその理解	
13	(4) 特別な配慮を要する家庭	
14	子どもの精神保健とその課題	7時間
15	(1) 子どもの生活・生育環境とその影響	
16	(2) 子どもの心の健康に関わる問題	
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート、科目終末試験ともに60点以上で合格

使用教材・参考文献等

児童育成協会 白川佳子・福丸由佳編集『子どもの家庭支援の心理学』
柏女霊峰ほか編著『保育相談支援』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	教育課程総論	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	幼児期の特性をふまえた保育計画を立てることの意義と必要性、また具体的な事例を通して教育課程全般についての基礎的な内容の理解が深められる学習を行う					
担当講師	氏名	清永哲也	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生 期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	教育課程の目的や意義に関して、基本的な理解が深められること。幼児期のこどもの特性をふまえた教育課程のあり方について基本的な理解を深めることができる。教育課程の編成及び指導計画の作成に対する基本的な理解が深められることができる。					
準備学習の内容	・ 使用教材を精読その内容を理解する。・ これまでの経験から得られた事例から講義に役立つ事例の収集に努める。・ 講義使用の自作教材の作成に務める。					
授業の進め方	講義形式だけでなく、講義内容の理解を深めるために学生相互での集団討論や簡単な実習を取り入れながら学習する。					

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	教育課程総論とは（オリエンテーション）	2時間
2	幼児教育の重要性	2時間
3	幼稚園・保育園・認定こども園	2時間
4	環境を通して行う教育	2時間
5	こどもの姿①（こどもの成長）	2時間
6	こどもの姿②（事例研究）	2時間
7	こどもの姿③（特別支援教育）	2時間
8	指導技術・保育技術の実際①（「遊びと仕事」を中心に）	2時間
9	指導技術・保育技術の実際②（「本との出会い」を中心に）	2時間
10	指導技術・保育技術の実際③（「劇化」を中心に）	2時間
11	指導技術・保育技術の実際④（「褒め・叱り方」を中心に）	2時間
12	教育課程、全体的な計画と指導計画の実例	2時間
13	保護者との連携	2時間
14	教育課程の評価（PDCAサイクルを中心に）	2時間
15	まとめ・考査（2年次の実習に向けて・卒業までに学んでほしいこと）	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート（70%） 科目終末試験（30%） 合計が60点以上で合格

使用教材・参考文献等

岸井勇雄・横山文樹著『あたらしい幼児教育課程総論』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	教育方法論		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	乳幼児期の教育の基本原理の理解に重要なテーマについて理解し、子どもたちにとって魅力的な教育活動を計画・実践するための知識と技術を習得する。						
担当講師	氏名 桑原亜矢子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。講義では教育の方法などについて理論的知識を習得できるよう指導にあたる						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	①乳幼児の教育方法の基本原理を理解し、説明できる。②①を踏まえ、遊びを通じた具体的な実践を計画できる。③子どもの意欲を高める保育者の関りの必要性を理解し、実践に活かすことができる。						
準備学習の内容	配布資料を含め復習すること。						
授業の進め方	板書による講義を中心とする。また視聴覚教材を用いて視覚的効果の高い授業を行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	教育方法論で何を学ぶか—学習の見取り図	2時間
2	乳幼児期の教育は子どもたちの何を育てるのか?—認知能力と非認知能力—	2時間
3	一斉教授と経験的カリキュラム—効用と問題点、乳幼児期の教育の特徴—	2時間
4	乳幼児期の教育方法のキーワード①—「遊び」について	2時間
5	乳幼児期の教育方法のキーワード②—「環境」について	2時間
6	主体的・対話的で深い学びの基本	2時間
7	主体的・対話的で深い学びと乳幼児期の教育	2時間
8	子どもの意欲を高める保育者の関わり①—保育者の子どもへの関わり方	2時間
9	子どもの意欲を高める保育者の関わり②—活動における導入・展開・まとめ	2時間
10	教育の評価—乳幼児の育ちをみる視点と改善	2時間
11	設定保育指導案の作成	2時間
12	設定保育指導案の自己評価と改善	2時間
13	乳幼児期の教育における情報機器の活用①—リテラシーとモラル	2時間
14	乳幼児期の教育における情報機器の活用②—教材の作成	2時間
15	半期の振り返りとポートフォリオの整理	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート(50%) 科目終末試験(50%) 合計が60点以上で合格

使用教材・参考文献等

文部科学省『幼稚園教育要領解説』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程				
科 目 名	教職概論		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	教職・保育職の意義やその役割、職務内容などを学び、保育者には何が求められているかを学習する。						
担当講師	氏名 山田典昭		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	教職・保育職の意義やその役割、職務内容、資質能力、教職への意欲を高め、教職の在り方を理解する。保育者として社会の期待に応えるためにはどのような努力をする必要があるのか自分なりに見識を有し、資質能力を養う。						
準備学習の内容	始めにテキストを熟読しておくこと。保育者に成るためには何が求められているか考える。						
授業の進め方	重要だと思われる箇所やキーワード、または各章ごとに要点をまとめるなどして学習を進める。						

回数	授業内容	授業時間
1	ガイダンス・教育とは何か	2時間
2	教職とは何か	2時間
3	日本における教師の歴史	2時間
4	現代社会の子どもについて	2時間
5	子どもの生活と援助	2時間
6	幼稚園・保育所・認定こども園の生活と遊び	2時間
7	小学校での学習と専科教員	2時間
8	学校にかかわりを持つ人々	2時間
9	カウンセリングマインド	2時間
10	教師をめぐる新しい動き	2時間
11	教師をめぐる法律	2時間
12	教育改革とこれからの教師	2時間
13	教職の専門性と研修（教育の質を高めるために）	2時間
14	教師への道	2時間
15	まとめ・考査	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
レポート(50%) 科目終末試験(50%) 合計が60点以上で合格

使用教材・参考文献等
古橋和夫編『未来の教師に向けて<改訂>教職入門改訂版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	保育内容総論		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	保育内容を総合的に捉える視点を養う。幼稚園教育要領、保育所保育指針のねらいと内容を中心に保育の基本、指導のあり方を学ぶ。						
担当講師	氏名 出口夕香		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園にて勤務経験があり、子供の育ちをめぐる現状と課題についてや、保育の目的・役割について講義を行う						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	保育内容史的展開を踏まえ、保育所保育や子どもの育ちをめぐる現状と課題について説明できる。また保育の役割、環境を通して行う保育、保育における遊びの位置づけなど基本原理について説明でき、実践的に反映できる。保育の総合性を踏まえ、指導計画を立案し、実施することができる。						
準備学習の内容	事前に「保育所保育指針解説書」第1章「総則」に目を通しておくこと。						
授業の進め方	講義形式の他、グループワークや受講生同士の議論を通して、保育実践を構築し、比較的に検討できる力の素地を培う。						

回数	授業内容	授業時間
1	日本における子ども・子育てをめぐる現状と課題ー保育の基礎知識①	1時間
2	幼稚園・保育所の成立と保育方法の史的展開ー保育の基礎知識②	1時間
3	保育所保育の目的・役割ー保育の基本原則①	1時間
4	保育所保育の「ねらい」・「内容」の意味ー保育内容の理解①	2時間
5	保育の総合性とは何かー保育内容の理解②	2時間
6	指導計画立案の考え方・書き方の基本	2時間
7	子どもの発達過程に応じた保育	1時間
8	あそびと保育	2時間
9	子どもの「最善の利益」とはー保育所保育をめぐる論点と議論	2時間
10	小学校との接続・共生の保育	1時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

1 回目レポート（40%） 2 回目レポート（40%） 授業への参加（20%）

関仁志編著『マンガとアクティブラーニングで学ぶ保育内容総論』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	教育相談		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	子どもの心の成長やつまずき、保護者への支援に関する理解を臨床心理学的視点から深めることを通して子どもや家庭への支援の基礎を学ぶ。						
担当講師	氏名	濱本信乃		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	病院にて臨床心理士として勤務。カウンセリングマインドの技法などについて講義を行う						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	幼児教育における教育相談の意義を理解し、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概論を理解する。幼児の不応答や問題行動の意味並びに幼児の発するシグナルに気づき把握する方法を理解する。						
準備学習の内容	子どもの問題（虐待、不登校、いじめ等）や子育て支援をめぐるニュースなどにも日頃から目を通して置き「自分はどのように考えるか」を常に考えておく。						
授業の進め方	講義による理論の学習を行うと同時に視聴覚教材を用いて教育相談を勧めるための組織整備や多職種との連携などを理解していく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	カウンセリングマインドとは（概論）	2時間
2	カウンセリング理論	2時間
3	カウンセリング技法①（スキル）	2時間
4	カウンセリング技法②（ロールプレイ）	2時間
5	保護者との連携	2時間
6	養育困難を抱える保護者への支援	2時間
7	児童虐待について	2時間
8	他機関との連携	2時間
9	障害のある子どもを持つ保護者への支援	2時間
10	精神疾患について	2時間
11	発達障害について	2時間
12	ケーススタディ①（こども）	2時間
13	ケーススタディ②（保護者）	2時間
14	エンカウンターグループ	2時間
15	まとめ・考査	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート、科目終末試験ともに60点以上で合格

使用教材・参考文献等

『子育て支援カウンセリング～幼稚園・保育園で行う保護者の心のサポート～』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程				
科目名	言語表現	授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習				
授業概要	保育所、幼稚園の中での保育実践を想定し子どもの遊びを豊かに展開するために必要な言語表現活動に関する技術を学ぶ。						
担当講師	氏名 渡部一恵	■ 実務経験を有する教員					
実務経験	保育園にて勤務。実技を用いながら言葉環境の構成や技法を身につくよう導く						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	表現技術のひとつとしての言語表現について、基礎知識・技術を習得する。絵本や紙芝居を中心とする児童文化財に関する基礎知識を習得し表現力豊かな実演をおこなうことができる。言語表現活動が子どもの人間形成に果たす意義を理解する。						
準備学習の内容	日頃から興味関心をもって自ら絵本や物語に多く触れることを期待する。						
授業の進め方	基礎知識を学び、実際に園児の前で行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	子どもの言葉と表現力	1時間
2	こども・保育者の言葉	1時間
3	言葉あそび	1時間
4	絵本論	1時間
5	おすすめ絵本の紹介・よみきかせの絵本・実践	2時間
6	言葉あそび制作（グループ活動）	6時間
7	言葉あそび実演・発表	2時間
8	総括	1時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

作品（40%） 口頭表現（30%） 提出物（30%）

使用教材・参考文献等

講師作成の資料を配布する

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	保育の心理学		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。						
担当講師	氏名	岡崎伸義		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	スクールカウンセラーとして勤務。講義では子どもの発達の特徴を理解し見通しをもった発達の支援ができるよう指導にあたる						
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育に一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。						
準備学習の内容	発達の基本的知識や子どもの発達の特徴を考え、テキストを熟読しておく。						
授業の進め方	子どもの発達理論の心理学的知識を習得し、身体的機能と運動的機能の発達、認知・言語の発達について理解を深め、保育における人との相互的関わりや体験や、環境の意義についても学ぶ。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	こどもの発達を理解することの意義	2時間
2	こどもの発達と環境	2時間
3	発達理論と子供観・保育観	2時間
4	身体発達と運動発達	2時間
5	発達を支えるアタッチメント	2時間
6	自己と感情・情動の発達	2時間
7	社会性の発達	2時間
8	認知の発達	2時間
9	言語の発達	2時間
10	発達障害（障害）と発達	2時間
11	虐待から考える発達	2時間
12	保育に活かす学習理論	2時間
13	乳幼児の学びの過程と特性	2時間
14	遊びの発達	2時間
15	乳幼児乃学びを支える保育	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

出席状況・小テスト・レポート・科目終末試験

使用教材・参考文献等

『発達心理学』 宮原英種・宮原和子著 『愛情だけでは子どもは育たない』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	保育・教職実践演習 I		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	履修カルテを基に学習と実習の成果を振り返りながら、保育士幼稚園教諭に求められる資質能力の確認を行う。						
担当講師	氏名 岩永加寿恵		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園での勤務経験がある。模擬保育を通して、保育の知識や技能を身につくよう導く						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択		<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	自らの学びを振り返り保育士、幼稚園教諭として必要な知識・技能の習得を確認する。保育士、幼稚園教諭として必要な能力を習得する。保育士、幼稚園教諭としての使命感と職務について理解する。						
準備学習の内容	保育士、幼稚園教諭として必要な知識・技能の中で自己にかけている課題を把握する・模擬保育に必要な準備、練習を行う。						
授業の進め方	自己の資質と能力の向上に努めることができるよう・発表・議論・ロールプレイ・模擬保育などを組み合わせて行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	自己評価（:履修カルテ）作成①	1時間
2	ロールプレイ（教諭・保育者・保護者との接し方）	4時間
3	グループ討議・反省会	2時間
4	模擬保育準備（グループ）指導案・教材作成	4時間
5	模擬保育準備（グループ）発表	2時間
6	模擬保育の振り返り	1時間
7	自己評価（履修カルテ）振り返りと実習振り返り	1時間
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業への積極的参加・発表（50%） レポート（50%）

使用教材・参考文献等

『教育実習事前事後』 『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所児童養護施設等 実習ガイド第2版』
『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	保育・教職実践演習（面接）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	履修カルテを基に学習と実習の成果を振り返りながら、保育士幼稚園教諭に求められる資質能力の確認を行う。						
担当講師	氏名	岩永加寿恵		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。実習で経験したことを活かしさらに技能を身に着けるよう導く						
時間数	30 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	自らの学びを振り返り保育士、幼稚園教諭として必要な知識・技能の習得を確認する。保育士、幼稚園教諭として必要なコミュニケーション能力を習得する。保育士、幼稚園教諭としての使命感と職務内容について理解する。						
準備学習の内容	保育者としての必要なコミュニケーション能力向上に積極的に取り組む。授業中、要求された課題をまとめる。						
授業の進め方	これまでの学習と実習の成果を振り返りながら、自己の資質と能力の向上に努めることができるよう発表・議論・ロールプレイ・模擬保育などを組み合わせ行う。						

回数	授業内容	授業時間
1	保育者としての自己分析	2時間
2	保育者としての社会的使命と役割	2時間
3	保育者としての教育的愛情	4時間
4	保育・教育職の意義と職務内容	4時間
5	家庭・地域社会との連携	2時間
6	子ども・保育者との信頼関係の構築	2時間
7	保育者に必要なコミュニケーション能力：ロールプレ①	4時間
8	保育者に必要なコミュニケーション能力：ロールプレ②	4時間
9	ロールプレイの反省会・討論・発表	4時間
10	まとめ	2時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

発表（50%） レポート（50%）

『教育実習事前事後』『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所児童養護施設等 実習ガイド第2版』『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』
--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	子どもの健康と安全		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	子どもの身近なケガや疾患、事故に対して適切な応急処置などについて具体的に学ぶ。						
担当講師	氏名	豊福睦子		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	病院での勤務経験がある。応急処置と救急時の対応、子どもの健康観察とバイタルサインなど実技を通して指導にあたる						
時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	身近なケガや疾患、事故に対して適切な応急処置及び救急処置に対応できる技能を習得する。子どもの健康及び安全の実施体制について理解する。						
準備学習の内容	各回の講義に該当する項目は、事前にテキストを熟読しておく。・子どもの健康、安全対策、応急処置などキーワードとした新聞やインターネットの情報について日常的に興味、関心をもつようにすること。						
授業の進め方	グループワーク、グループ討議を行い、学生同士でモデル人形を使用し、身近なケガ疾患、事故に対応できるように講義を進める。						

回数	授業内容	授業時間
1	子どもの保健と安全についての概念	1時間
2	ペットメイキング	1時間
3	心肺蘇生法、AED（モデル人形での演習）	2時間
4	身体測定（モデル人形での演習）	2時間
5	沐浴（モデル人形での演習）	2時間
6	バイタルサイン測定法	2時間
7	子どものケガ及び安全対策、発熱等に対するの応急処置	2時間
8	感染症の対処方法（ノロウイルス等）	2時間
9	まとめ	1時間
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

レポート（50%） 授業への積極的参加（50%）

川原裕子編『子どもの健康と応急処置』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	乳児保育Ⅰ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	乳児保育の理念と役割を学び、乳児保育の基本的な知識・技能の基礎を身につける。						
担当講師	氏名 栗山 健		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	保育園にて勤務。講義では乳児保育の意義や目的、役割や機能について行う						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	子どものあるがままの姿を理解し保育できるように、子どもの成長発達や発達課題、保育内容、保育実践の方法を学習し、知識と技術の基礎を身につける。また、子育てを担う保護者を支援する保育者としての役割を自覚し、支援を行う上で必要な知識や技能を習得する。						
準備学習の内容	日常的にインターネットや新聞参考文献等で乳児保育に関わる話題に興味や関心を持つ。						
授業の進め方	テキストに沿って講義。乳児（子ども）の発達には道すじがある。その発達過程を知り、理解に繋がるよう順追って授業を進め、乳幼児の関わりは実践を取り入れ行っていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	乳幼児保育とは何か。意義と目的、歴史的変遷	2時間
2	乳児保育の役割と機能	2時間
3	乳児保育における養護および教育	2時間
4	乳児保育および子育て家庭に対する支援制度	2時間
5	乳児保育および子育て家庭をめぐる社会的状況と課題	2時間
6	保育所における乳児保育/児童福祉施設における乳児保育/家庭的保育	2時間
7	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場	2時間
8	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育-生活環境	2時間
9	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育-遊びと環境	2時間
10	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育-保育者の援助・関わり・配慮	2時間
11	3歳未満児の保育の場 - 計画・記録・評価	2時間
12	3歳未満児の保育の場 - 運営体制/職員間の連携・協働	2時間
13	3歳未満児の保育の場 - 保護者との連携・協働	2時間
14	3歳未満児の保育の場 - 自治体や関係機関等との連携協働	2時間
15	乳児保育Ⅰのまとめ・考査	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート 科目終末試験60点以上で合格

使用教材・参考文献等

『はじめて学ぶ乳児保育 改訂版』 松本園子編著 『乳児の生活と保育』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程				
科 目 名	乳児保育Ⅱ	授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	乳児保育の基本を乳児期の保育内容とともに学び、乳児の発達を踏まえた援助の具体的な在り方および病気・事故等の予防の基本を学び、計画への織り込み方を考える。						
担当講師	氏名	渡部一恵	■ 実務経験を有する教員				
実務経験	保育園にて勤務。乳児保育における配慮や計画などについて講義を行う						
時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	①養護と教育の一体性の意味を掴み、乳児保育の方法・環境・配慮の基本を理解する。②乳児保育の計画の作成について具体的に理解する。これらの到達目標の達成を通じ、乳児の全体象をつかみケアの基本を理解する。						
準備学習の内容	日常的にインターネットや新聞・図書等で乳児保育に関わる話題に興味・関心を持ち、その時々話題に対し自身の考えを持つようにすること。						
授業の進め方	実践授業を通して乳児の関わりを理解していく・テーマごとにグループ演習を行い乳児保育への理解を深めていく。						

回数	授業内容	授業時間
1	乳児期における計画の実際：長期指導計画と短期指導計画、デイリープログラム	2時間
2	子どもの一日の生活の流れと保育の環境：発達に応じたデイリープログラムと配慮事項	1時間
3	子どもの生活や遊びを支える環境の構成	1時間
4	3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際	2時間
5	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮：アレルギー、くすり	1時間
6	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮：病気の予防ほか	1時間
7	集団の生活における配慮：かみつき・ひっかき等への対応ほか	1時間
8	乳児保育の全体象①：6ヶ月未満児の育ちと保育、個々の子どもに応じた援助・受容的・応答的保育	1時間
9	乳児保育の全体象②：6ヶ月～1歳3か月未満の子どもの育ちと保育、子どもと保育士等の関係の重要性	1時間
10	乳児保育の全体象③：1歳3ヶ月未満の子どもの育ちと保育、子どもの主体性の尊重と自己の育ち	1時間
11	乳児保育の全体象④：2歳の子どもの育ちと保育、子どもの体験と学びの芽生え	1時間
12	総括：乳児保育を発達と保育内容から整理する	2時間
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		

レポート（50%） 授業への積極的参加（50%）

『はじめて学ぶ乳児保育 改訂版』 松本園子編著 『乳児の生活と保育』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	国語 I		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	語彙力の幅を広げるとともに、社会人となっても適切な表現・言語活動ができることを目指す。						
担当講師	氏名 山津和則		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園にて勤務。保育士として必要な国語力が身につくように導く						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	目的に応じた実用的な文章を書く力を身に着けるとともに、日本語の多彩な表現法を理解することを通して、自分の考えや思いを豊かに表現しようとする。						
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段から周囲で使われている言葉に関心を持っておく ・ 普段から書き付ける習慣をみにつけるよう務める 						
授業の進め方	講義・演習・グループ協議等						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	ことばの大切さ、ことばのおもしろさに気づく	2時間
2	報告書の書き方を学ぶ	2時間
3	お礼状の書き方を学ぶ	2時間
4	同総会の案内状の書き方を学ぶ	2時間
5	意見分の書き方を学ぶ	3時間
6	慣用語・ことわざ・故事成語の意味と使い方を身に着ける	2時間
7	基本的な漢字・熟語の読み書きを習得する	2時間
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業への積極的参加（30%） 課題レポート提出（70%）

使用教材・参考文献等

田上貞一郎著『保育者になるための国語表現』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	国語Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	語彙力の幅を広げるとともに、社会人となっても適切な表現・言語活動ができることを目指す。						
担当講師	氏名 山津和則		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	幼稚園にて勤務。保育士として必要な国語力が身につくように導く						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じ、指定された字数制限内で、組み立てのしっかりした論文の書き方を習得する ・質問の意図を的確にとらえた面接時の回答力を磨く 						
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から筋道立てて物事を考え進めようと努める ・対話の大切さを自覚し、日常生活の中で実践する 						
授業の進め方	講義・演習・グループ協議等						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	言葉の面白さ、言葉の大切さを自覚する	2時間
2	論文を2～3提示し、よさや問題点について協議する	2時間
3	幼児保育に関する3～4の課題を提示し、それに対する自分の考えを全体の構成を考えながら文章表現する	5時間
4	面接者の質問に対して、自分の考えや思いをわかりやすく、具体的に述べる	4時間
5	級友が面接を受ける様子を参観し、自分なりに級友の良さと課題を指摘し合う	2時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		

成績評価の方法・基準

授業態度・発表などで総合的に判断する

使用教材・参考文献等

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程				
科目名	教育実習 I	授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> 実習		
授業概要	専門教育科目で習得した知識・技能を活用し、実践する応用力を養うため、実践現場における体験を通して学び、理解を深める。						
担当講師	氏名 桑原亜矢子	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員					
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。幼稚園教諭の職務や役割について体験を通して理解するよう導く						
時間数	60 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解する。幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。幼稚園での1日の教育活動を振り返り、観察記録を作成することができる。部分実習の指導計画を立案することができる。						
準備学習の内容	実習で使用する手遊び、歌遊び、ゲームなどのレパトリーを増やしておく。また子どもの歌を弾き込んでおく。配属クラスの年齢に応じた指導計画案を作成する。						
授業の進め方	専門教育科目で獲得した幼児教育に関する知識・技能を活用しながら、実践的指導力を体験的に、また総合的に高めていくことを目標とする。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	幼稚園における1日の生活・活動の流れと生活・活動内容の概要	60時間
2	あそび・生活場面での園児の行動	
3	園児の行動に対する幼稚園教諭の対応	
4	※参加実習では、指導教諭の指導と助言を受けながら、教育活動や園務積極的に従事する。	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実習日誌の記述内容（50%） 指導計画の記述内容（30%） 実習園による評価（20%）

使用教材・参考文献等

石橋裕 子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童 福祉 施設等 実習 ガイド 第2版』同文書院 2018年

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程				
科目名	教育実習Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	
授業概要	専門教育科目で習得した知識・技能を活用し、実践する応用力を養うため、実践現場における体験を通して学び、理解を深める。						
担当講師	氏名	岩永加寿恵		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。幼稚園教諭の職務や役割について指導実習を通して理解するよう導く						
時間数	60 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解する。幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。幼稚園での1日の教育活動を振り返り、観察記録を作成することができる。部分実習の指導計画を立案することができる。						
準備学習の内容	実習で使用する手遊び、歌遊び、ゲームなどのレパートリーを増やしておく。また子どもの歌を弾き込んでおく。配属クラスの年齢に応じた指導計画案を作成する。						
授業の進め方	専門教育科目で獲得した幼児教育に関する知識・技能を活用しながら、実践的指導力を体験的に、また総合的に高めていくことを目標とする。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	部分実習、全日実習の指導計画の作成及び指導	60時間
2	幼稚園教諭としての保育技能の習得及び態度の養成	
3	幼稚園と家庭との連携の内容と方法の理解	
4	※参加実習では、指導教諭の指導と助言を受けながら、教育活動や園務に積極的に従事する	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実習日誌の記述内容（50%） 指導計画の記述内容（30%） 実習園による評価（20%）

使用教材・参考文献等

石橋裕 子他編『新訂 知りたいときにすぐ わかる幼稚園・保育所・児童 福祉 施設等
実習 ガイド 第2版』同文書院 2018年

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程				
科目名	教育実習事前事後指導		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	幼稚園教育実習の意義を理解し、日誌の書き方指導計画の作成方法など、知識や技術を身につける。また実習事後では、指導計画等をもとに振り返る。						
担当講師	氏名	桑原亜矢子		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。講義では実習に向けた事前の心構えや、指導計画の立案の方法などを行う						
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	教育実習に向けた「事前」の心構えや準備に関する基礎的知識を理解する。観察記録の作成、指導計画の立案の方法を理解する。「事後」のまとめに関わった考察の視点を理解する。						
準備学習の内容	子ども・子育て支援新制度など、幼児教育や子育てに関わった現代的な課題を新聞などの情報によって確認し、把握しておくこと。						
授業の進め方	テキストを用いて講義形式で理解をはかる。その後、必要な書類の作成を行ったり日誌の書き方について実践的に理解したり、円滑に実習を行うよう準備する。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	教員養成の目標と教育課程、教育実習の意義	2時間
2	幼稚園の機能と役割、法的根拠、幼稚園教育を取り巻く状況	2時間
3	幼稚園教員の職務と役割	2時間
4	幼児期の発達課題と生活課題、家庭との連携	2時間
5	実習園選定に向けた情報収集の方法	4時間
6	観察・参加実習における記録作成の意義と方法	4時間
7	指導計画の作成の方法①（朝の会・昼食指導の指導計画）	4時間
8	指導計画の作成の方法②（中心となる活動の指導計画）	4時間
9	教育実習に向けた準備	4時間
10	まとめの課題	2時間
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

面接授業中に提示する課題レポート（40%） まとめ課題レポート（60%）

使用教材・参考文献等

『教育実習事前事後』

『幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科	専門課程	教育・社会福祉専門課程					
科目名	保育実習事前事後 I（保育所）	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習					
授業概要	保育実習 I にむけて、保育所のあり方、保育指導案作成を事前に習得し、実習事後においてレポート作成し次の実習に向けて備える。							
担当講師	氏名	本村尚子						
		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員						
実務経験	保育園にて勤務経験がある。講義では実習に向けた事前の心構えや、指導計画の立案の方法などを行う							
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期	前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択				
到達目標	保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。指導計画の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付ける。実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。							
準備学習の内容	手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など保育実習にむけた準備。保育所の社会的役割、内容などについての事前学習・実習目的や学習計画に沿って実習にむけた準備。							
授業の進め方	保育実習の意義や目的・内容など保育実習についての授業を行い、実習前にすべき事柄・指導計画案の作り方・実習記録の作成および実習後にすべき事柄などを中心に具体的な実例に基づきながら行っていく。							

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	保育実習の全体の流れと諸注意	6時間
2	保育所実習の意義・目的・内容について	6時間
3	保育所の1日の流れとデイリープログラムの理解	6時間
4	保育所実習の実習記録作成について（実習日誌の書き方）	6時間
5	保育所実習の指導案作成について（指導案の書き方）	6時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

保育実習事前レポート（60%） 授業への積極的参加と課題等提出（40%）

使用教材・参考文献等

石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2項版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	保育実習事前事後 I（施設）		授業方法	■ 講義 □ 演習 □ 実習			
授業概要	保育実習 I 施設の意義、内容を学ぶ。実習において事前に指導計画案を作成し、実習事後においてレポートを作成し次の実習に向けて備える。						
担当講師	氏名 本村尚子		■ 実務経験を有する教員				
実務経験	保育園にて勤務経験がある。講義では全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る						
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 後期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	保育実習（施設）の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。指導計画案の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付ける。実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や目標を明確にする。						
準備学習の内容	手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など保育実習にむけた準備。児童福祉施設の社会的役割、種類、内容などについての事前学習。実習目標や学習計画に沿って実習にむけた準備。						
授業の進め方	保育実習（施設）の意義・目的・内容についての授業を行い、実習前にすべき事柄・指導計画案の作り方・実習記録の作成および、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な事例に基づきながら行っていく。						

回数	授業内容	授業時間
1	施設実習に関する基礎的理解と諸注意	6時間
2	施設における保育内容と養護	6時間
3	施設の役割と機能について	6時間
4	施設実習の実習記録作成について（実習日誌の書き方）	6時間
5	施設実習の指導案作成について（指導案の書き方）	6時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

保育実習（施設）事前レポート（40%） 「保育実習 1」の実習事後レポート（40%） 授業への積極的参加と課題等提出（20%）
--

石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2版』
--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科			専門課程	教育・社会福祉専門課程		
科 目 名	保育実習 I（保育所）			授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> 実習
授業概要	保育士資格を取得するために児童福祉施設で行う実習。保育所における1日の流れ、子どもへの理解を深める。また保育士の業務内容や職業理解、保育の技術、記録方法を学ぶ。						
担当講師	氏名	本村尚子		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	保育園にて勤務経験がある。実践を通じて保育の技術、能力を身に着けるよう導く						
時 間 数	60 時間	単 位 数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	保育現場で保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することができる・実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる・自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。						
準備学習の内容	手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など、保育実習に向けた準備をする。						
授業の進め方							

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	保育所の内容、機能について理解する（保育所の1日の流れやプログラムの理解等）	60時間
2	保育所における子どもの理解（年齢、月齢ごとの子どもの発達とその特徴）	
3	保育所における保育者の職務内容、役割などを理解する	
4	日誌や指導案の書き方を学ぶ	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実習日誌・事後レポートなどの提出物（50%） 実習園の評価（30%） 勤務状況等（20%）

使用教材・参考文献等

石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2項版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	保育実習 I（施設）		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育所以外（乳児院・児童養護施設などの養護施設や障害児入所施設・障害者支援施設などの施設）で行う実習。1日の流れ・業務内容・職業倫理などを学び、子どもや障がい者への理解を深める。						
担当講師	氏名	本村尚子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	保育園にて勤務経験がある。実践を通じて保育の技術、能力を身に着けるよう導く						
時間数	60 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	・施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解する。実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。						
準備学習の内容	手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など保育実習にむけた準備。各自の実習のねらい、課題を明確にする。						
授業の進め方							

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	施設の内容、機能などを理解する（1日の流れ、子どもや障害者の活動等）	60時間
2	施設保育者の職務内容および役割、また他の職員とのチームワークなどの理解	
3	子どもや障害者を取り巻く社会や家族の問題について理解する	
4	日誌の書き方を学ぶ	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実習日誌・事後レポートなどの提出物（50%） 実習園の評価（30%） 勤務状況等（20%）

使用教材・参考文献等

石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2項版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	保育実習事前事後指導Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育実習Ⅰでの学びを基盤に保育実習Ⅱに必要な専門知識・保育技術及び態度を身に付けることをねらいとする。実習目的や内容を明確にし、課題意識をもって実習に取り組み態度を養う。実習後は振り返りを行う。						
担当講師	氏名	本村尚子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	保育園にて勤務経験がある。保育実習Ⅰを通して指導計画の作成、記録などさらに実践力を養えるよう導く						
時間数	15	単位数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	指導計画の作成や記録など保育の実践力を養う。保育士として自己の課題を明確化する。						
準備学習の内容	保育実習Ⅰの振り返りと次回の実習に向けた自己課題を明確にしておく。各自設定した「保育実習Ⅱ」に向けた自分の実習目標、課題、学習計画にそって、準備する。						
授業の進め方	保育実習の意義や目的・内容など保育実習についての授業を行い、実習前にすべき事柄・指導計画案の作り方・実習記録の作成および実習後にすべき事柄などを中心に具体的な実例に基づきながら行っていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	保育実習Ⅱの目的・意義について	2時間
2	保育実習Ⅱに向けた実習目的、課題、学習計画の作成・教材研究	6時間
3	教材発表	4時間
4	保育実習の振り返り、報告	2時間
5	まとめ・発表	1時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業への積極的参加（20%） 報告会の内容（30%） 実習目的、課題、学習計画（50%）

使用教材・参考文献等

石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2項版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	保育実習事前事後指導Ⅲ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	保育実習Ⅲに必要な専門知識・保育技術及び態度を身に付けることをねらいとする。観察・指導案に関する指導・保育実技・実習を円滑に進めるための知識や技能を習得する。実習後は振り返りを行う。						
担当講師	氏名 本村尚子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	保育園にて勤務経験がある。保育実習Ⅰ（施設）を通して養護と療育に関する知識や技術さらに高めるために教材研究など用いて指導にあたる						
時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	保育実習事前事後指導Ⅲでは、事前指導として、保育実習事前事後指導Ⅰ、保育実習Ⅰ、（施設実習）、また、その他の教科書で学習した内容を基礎に、保育実習Ⅲに向けた準備を行う。具体的には、子どもの最善の利益を基礎とした児童福祉施設における保育と養護の理解、また、家族への支援など保育の実践力を養うことを目的とする。さらに、児童福祉施設以外の施設についても理解を深める。保育実習Ⅲの事後指導として、自己評価を行い、保育士としての自己課題を明確化する。						
準備学習の内容	保育実習Ⅰの振り返りと次回の実習に向けた自己課題を明確にしておく。各自設定した「保育実習Ⅲ」に向けた自分の実習目標、課題、学習計画にそって、準備する。						
授業の進め方	養護と療育に関する知識や技術をさらに高めるための教材研究などの実践と資料等を用いて理解を深めるための学習を行い、保育士としての自己課題を明確化するためのレポート作成を行う。						

回数	授業内容	授業時間
1	保育実習Ⅰ（施設実習）の振り返り	1時間
2	保育実習Ⅲの目的・意義について	1時間
3	子どもの最善の利益と養護の理解	5時間
4	教材研究・自立支援計画の作成	5時間
5	保育実習Ⅲに向けた総合理解・自己課題の明確化	3時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		

成績評価の方法・基準
授業への積極的参加（20%） 報告会の内容（30%） 実習目的、課題、学習計画（30%） 実習終了後の実習課題レポート（30%）

使用教材・参考文献等
石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	保育実習Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育実習Ⅰでの学びを基盤に保育実習Ⅱに必要な専門知識・保育技術及び態度を身に付けることをねらいとする。実習目的や内容を明確にし、課題意識をもって実習に取り組み態度を養う。実習後は振り返りを行う。						
担当講師	氏名	本村尚子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	保育園にて勤務経験がある。保育実習Ⅰを通して保育士としての資質、能力、技術を向上させる						
時間数	60 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input type="checkbox"/> 必修	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	保育実習Ⅰを通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質、能力技術を向上させる。						
準備学習の内容	手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など、保育実習に向けた準備をする。						
授業の進め方							

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	子どもの年齢や発達に応じた保育や遊びの展開を行う	60時間
2	その場に応じた子どもへの対応と保育について理解する	
3	問題のある子どもや保護者に対する対応について理解する	
4	保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価の実践と理解	
5	部分実習、全日実習を行い実践力を養う	
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実習日誌事後レポートなどの提出物（50%） 実習園の評価（30%） 勤務状況等（20%）

使用教材・参考文献等

石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	保育実習Ⅲ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育実習Ⅲに必要な専門知識・保育技術及び態度を身に付けることをねらいとする。観察・指導案に関する指導・保育実技・実習を円滑に進めるための知識や技能を習得する。実習後は振り返りを行う。						
担当講師	氏名	本村尚子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	保育園にて勤務経験がある。実践を通じて社会的養護や家庭支援、障害児支援について知識、技術、判断力を身に着けるよう導く						
時間数	60 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input type="checkbox"/> 必修	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	保育士としての必要な資質、能力、技術を習得する。家庭や地域の生活実態にふれ子育てを支援するために必要とされる能力、技術を習得する。						
準備学習の内容	保育実習Ⅰの施設実習の反省点や自分の課題をまとめておくこと。絵本やペーパーサート、運動遊びなどの保育実技を学習すること。						
授業の進め方							

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		60時間
2		
3	1. 児童福祉施設やその他の社会福祉施設の社会的役割や保育士の役割について理解を深める	
4		
5	2. 児童福祉施設やその他の社会福祉施設における子ども（利用者）と家族支援の理解	
6		
7	3. 養護内容・方法の理解	
8		
9	4. 多様な専門職との連携	
10		
11	5. 地域社会との連携・協働	
12	6. 保育士としての自己課題の明確化	
13	子ども（利用者）との関りを持ち、援助の仕方を工夫するよう努めること	
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

実習日誌等の提出物（50%） 実習施設の評価（30%） 勤務状況等（20%）

使用教材・参考文献等

石橋裕子他編『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育園児童養護施設等実習ガイド 第2項版』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	総合演習 I		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育者としての基礎的な資質、知識、技能、態度を養う。						
担当講師	氏名	本村尚子		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	保育園にて勤務経験がある。現場での経験を活かし保育士、幼稚園教諭として必要な知識、技能を実技を用いながら身に付けるよう導く						
時間数	105 時間	単 位 数	3 単位	学習時期	学年	1 年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門 <input checked="" type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	保育者として必要な基本姿勢や基本的能力を身に付ける。						
準備学習の内容	教育に関する新聞記事やニュースに積極的に触れる。事前に指導教員に必要なものを確認し、現場の指導教員に従う。						
授業の進め方	講義、小テスト、実技での授業を行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		105時間
2		
3	保育者を目指す学生としての基本的態度、学習者としての立場を理解する	
4	・保育者を目指す学生としての適切な身なりを整えることができる	
5	・保育者を目指す学生としての適切なあいさつや言葉遣いができる	
6	・実習場面の状況に応じた適切な態度や行動ができる	
7	・指導者への報告・連絡・相談を徹底して行うことができる	
8	・近隣の幼稚園・保育園での体験を通じて保育者の関わり、子どもへの理解を深める	
9	・経験したことを振り返り自己の課題を整理することができる	
10	保育者を目指す学生として技能の基礎を身につける	
11	・制作活動を通じて保育現場の環境、構成を理解する	
12	・さらに現場で必要な制作活動の研究を行い深めていく	
13	・研究した制作活動の発表を通じて技能を身につける	
14	講話	
15	・現場に従事している幼稚園教諭、保育士より保育の講話を傾聴し、保育者への仕事の理解を深める	
16	・卒業生による「教育・保育現場の状況」講話を聴き、質疑応答を通じて保育者の現場でのあり方や理解を深める	
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート、小テスト（30%） 講義への積極的参加（70%）

使用教材・参考文献等

--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程		
科目名	総合演習Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	保育者としての基礎的な資質、知識、技能、態度を養う。					
担当講師	氏名	桑原亜矢子		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。実技を用いながらさらに保育の知識、技能を向上するよう指導にあたる					
時間数	150 時間	単位数	5 単位	学習時期	学年	2 年生 期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	保育者として必要な基本姿勢や基本的能力を身に付ける。					
準備学習の内容	教育に関する新聞記事やニュースに積極的に触れる。事前に指導教員に必要なものを確認し、現場の指導教員に従う。					
授業の進め方	講義、小テスト、実技での授業を行う。					

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		150時間
2		
3	保育者を目指す学生として技能の基礎を身につける	
4	・制作活動を通じて保育現場の環境、構成を理解する	
5	・制作活動を重ね、技術力を高める	
6	・共同作業を通じて他者の意見を受け止め、尊重することができる	
7	学外研修（関わりを持って学習する）	
8	・学校イベントやピアノ発表を通じて目的意識を持ち自ら関わりを持つことができる	
9	・自己の考えを持ち他者に表出することができる・企画・運営の仕方などを学び、行事計画を立てることができる	
10		
11	講話	
12	・現場に従事している幼稚園教諭、保育士より保育の講話を傾聴し、保育者への仕事の理解を深める	
13	・卒業生による「教育・保育現場の状況」講話を聴き、質疑応答を通じて保育者の現場でのあり方や理解を深める	
14		
15		
16	ボランティア活動	
17	・施設の行事に参加し、指導者の動き・関わりを学ぶ	
18	・対象者の思いに共感することができる	
19	・対象者の反応や変化を敏感に感じることができる	
20	・経験したことを振り返り自己の課題を整理することができるようにする	
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート（30%） 授業への積極的参加（70%）

使用教材・参考文献等

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	総合演習Ⅲ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	保育者としての基礎的な資質、知識、技能、態度を養う。						
担当講師	氏名	岩永加寿恵		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。イベントやボランティアなどを通し保育の知識、技能の向上、コミュニケーション能力を習得できるよう導く						
時 間 数	165 時間	単 位 数	5 単位	学習時期	学年	3 年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	保育者として必要な基本姿勢や基本的能力を身に付ける。						
準備学習の内容	教育に関する新聞記事やニュースに積極的に触れる。事前に指導教員に必要なものを確認し、現場の指導教員に従う。						
授業の進め方	講義、小テスト、実技での授業を行う。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		165時間
2		
3	保育者を目指す学生として技能の基礎を身につける	
4	・制作活動を通じて保育現場の環境、構成を理解する	
5	・制作活動を重ね、技術力を高める	
6	・共同作業を通じて他者の意見を受け止め、尊重することができる	
7	・校内研修（関わりを持って学習する）	
8	・学校イベントを通じて目的意識を持ち自ら関わりを持つことができる	
9	・自己の考えを持ち他者に出示することができる	
10	・企画・運営の仕方などを学び、行事計画を立てることができる	
11	ボランティア活動	
12	・施設の行事に参加し、指導者の動き、関わりを学ぶ	
13	・対象者の思いに共感することができる・対象者の反応や変化を敏感に感じることができる	
14	・経験したことを振り返り自己の課題を整理することができるようになる	
15	講話	
16	・現場に従事している幼稚園教諭、保育士より保育の講話を傾聴し、保育者への仕事の理解を深める	
17	・卒業生による「教育・保育現場の状況」講話を聴き、質疑応答を通じて保育者の現場でのあり方や理解を深める	
18		
19	卒業論文	
20	・3年間で学んだことを自分で研究テーマを見つける	
21	・研究・調査・分析・考察	
22	・論文	
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

レポート・論文（50%） 授業への積極的参加（50%）

使用教材・参考文献等

保育雑誌等

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	ピアノ実技Ⅰ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	ピアノを弾くための基礎習得に主眼を置き、指のためのテクニック・ピアノ練習曲、子どもの歌の伴奏法を学ぶ。						
担当講師	氏名 前田奈緒		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時 間 数	90 時間	単 位 数	3 単位	学習時期	学年	1 年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	保育者・教育者として必要な、基礎的なピアノ演奏技術及び読譜力を習得する。ピアノを弾くための指の基礎を作り、バイエル程度の難易度のピアノを曲を演奏することができる。						
準備学習の内容	毎回課題曲の予習・復習を行う。						
授業の進め方	個人レッスン及びグループレッスンの形態で授業をおこない、個人の進度に合わせて学習を進めていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	ピアノ技術の基礎力及びピアノ弾き歌い技術読譜に関する基礎力	90時間
2	1) 基礎練習曲	
3	3) こどものうた200	
4	4) コードネーム確認	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

課題曲への取り組み（20%） 実技試験（80%）

使用教材・参考文献等

平松愛子『ピアノ教本』 『こどものうた200』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	ピアノ実技Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	季節の歌、生活・行事の歌、実習園での課題曲など様々な子どもの歌の弾き歌いに取り組む。また発表会に向け各自で練習を行う。						
担当講師	氏名 野口香津代		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	90 時間	単位数	3 単位	学習時期	学年	2 年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	保育者・教育者としての必要な、ピアノ技術の応用力及びピアノ弾き歌い技術読譜に関する応用力を習得する・課題曲を暗譜し発表会で弾くことができる。						
準備学習の内容	毎回課題曲の予習・復習を行う。						
授業の進め方	個人レッスン及びグループレッソンの形態で授業をおこない、個人の進度に合わせて学習を進めていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	ピアノ技術の応用力及びピアノ弾き歌い技術読譜に関する応用力	90時間
2	1) 基礎練習曲	
3	2) 実習曲	
4	3) こどものうた200	
5	4) コードネーム確認	
6	5) 発表会課題曲	
7	を個人の課題に合わせて学習する	
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

課題曲への取り組み（20%） 実技試験（80%）

使用教材・参考文献等

平松愛子『ピアノ教本』 『こどものうた200』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	ピアノ実技Ⅲ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	子どもの歌の譜面をもとに、コードネームを見て伴奏が弾けるよう、さらに臨機応変にアレンジもできるように、さらなる伴奏及び弾き歌い技術の向上を目指す。						
担当講師	氏名 野口香津代		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	60 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	保育者・教育者として必要な、ピアノ技術、伴奏技術、弾き歌い技術を習得する。コードネームを見て伴奏を弾くことができるようになる。臨機応変に伴奏をアレンジし弾き歌いができるようになる。						
準備学習の内容	毎回課題曲の予習・復習を行う。						
授業の進め方	個人レッスン及びグループレッソンの形態で授業をおこない、個人の進度に合わせて学習を進めていく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	ピアノ技術の応用力及びピアノ弾き歌い技術読譜に関する応用力	60時間
2	1) 基礎練習曲	
3	2) 実習曲	
4	3) こどものうた200	
5	4) コードネーム確認	
6	試験課題対策・採用試験対策	
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

課題曲への取り組み（20%） 実技試験（80%）

使用教材・参考文献等

平松愛子『ピアノ教本』 『こどものうた200』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	幼児リトミック I		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	リトミックとは音楽教育としてだけでなく、幼児教育としても注目されている。実際にリトミックを体験・実践し理解を深め、保育の場でも活用できるように身につける。						
担当講師	氏名	堤 眞理恵		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	リトミック教室にて勤務。音楽に触れながら子どもの発達を促す教育法を習得できるように指導にあたる						
時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 前期
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門 <input checked="" type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	リトミックの基礎を理解する。						
準備学習の内容	復習・課題をする。						
授業の進め方	じっさいにリトミックを体験しながら理論を理解し、身につける。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	リトミックについて理解する。幼児期の活動を理解する。	1時間
2	基本的なリズムパターンと拍子を学習する。	2時間
3	即興的にリズムを作り出し、手や教具を用いて表現する。	2時間
4	年齢ごとの出来ることや能力を踏まえプログラム制作に取り掛かる	2時間
5	実際にリトミックを体験し、それぞれのプログラムに取り入れる	2時間
6	体験・実践したことを踏まえプログラムにどのように活かせるか考察し、実際に動く。	2時間
7	プログラムの仕上げをする。生徒同士で実践する。	2時間
8	出来上がったプログラムの発表。全員で実践。	2時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業取り組み（50%） 発表（50%）

使用教材・参考文献等

--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科			専 門 課 程	教育・社会福祉専門課程		
科 目 名	幼児リトミックⅡ			授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習		
授 業 概 要	リトミックとは音楽教育としてだけではなく、幼児教育としても注目されている。実際にリトミックを体験・実践し理解を深め、保育の場でも活用できるように身につける。						
担 当 講 師	氏 名	堤 眞理恵		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	リトミック教室にて勤務。音楽に触れながら子どもの発達を促す教育法を習得できるように指導にあたる						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年	2 年 生	期 通 年
科 目 区 分	<input type="checkbox"/> 専 門 <input checked="" type="checkbox"/> 一 般		履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択			
到 達 目 標	リトミックの基礎を理解する。						
準 備 学 習 の 内 容	復習・課題をする。						
授 業 の 進 め 方	じっさいにリトミックを体験しながら理論を理解し、身につける。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	リトミックについて理解する。幼児期の活動を理解する。	1時間
2	基本的なリズムパターンと拍子を学習する。	2時間
3	即興的にリズムを作り出し、手や教具を用いて表現する。	2時間
4	年齢ごとの出来ることや能力を踏まえプログラム制作に取り掛かる	2時間
5	実際にリトミックを体験し、それぞれのプログラムに取り入れる	2時間
6	体験・実践したことを踏まえプログラムにどのように活かせるか考察し、実際に動く。	2時間
7	プログラムの仕上げをする。生徒同士で実践する。	2時間
8	出来上がったプログラムの発表。全員で実践。	2時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業取り組み（50%） 発表（50%）

使用教材・参考文献等

--

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	幼児リトミックⅢ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	リトミックとは音楽教育としてだけではなく、幼児教育としても注目されている。実際にリトミックを体験・実践し理解を深め、保育の場でも活用できるように身につける。						
担当講師	氏名 堤 眞理恵		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	リトミック教室にて勤務。音楽に触れながら子どもの発達を促す教育法を習得できるように指導にあたる						
時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	期 前期
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	リトミックの基礎を理解する。						
準備学習の内容	復習・課題をする。						
授業の進め方	じっさいにリトミックを体験しながら理論を理解し、身につける。						

回数	授業内容	授業時間
1	リトミックについて理解する。幼児期の活動を理解する。	1時間
2	基本的なリズムパターンと拍子を学習する。	2時間
3	即興的にリズムを作り出し、手や教具を用いて表現する。	2時間
4	年齢ごとの出来ることや能力を踏まえプログラム制作に取り掛かる	2時間
5	実際にリトミックを体験し、それぞれのプログラムに取り入れる	2時間
6	体験・実践したことを踏まえプログラムにどのように活かせるか考察し、実際に動く。	2時間
7	プログラムの仕上げをする。生徒同士で実践する。	2時間
8	出来上がったプログラムの発表。全員で実践。	2時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
授業取り組み（50%） 発表（50%）

使用教材・参考文献等

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科	専 門 課 程	教育・社会福祉専門課程		
科 目 名	子どもの遊び	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	体を使った遊び、手遊び、身振り遊び、リズム遊びなど身体表現の基本的な知識、技術、指導法を学ぶ。また音楽を通して表現する楽しさを学ぶ。				
担 当 講 師	氏 名	本村尚子			
実 務 経 験	■ 実務経験を有する教員				
	保育園にて勤務経験がある。現場での経験を活かし子どもの年齢にあった遊びについて指導にあたる				
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年
				1 年生	期 通 年
科 目 区 分	<input type="checkbox"/> 専 門	<input checked="" type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択
				<input type="checkbox"/> 自 由 選 択	
到 達 目 標	子どもの生活、日々の表現を捉え表現領域の基本的理論を理解する。子どもの経験と身体表現とを結びつける遊びの展開方法について考えることが出来る。				
準 備 学 習 の 内 容	日頃から子どもたちが興味関心を持っているものをリサーチしておく。				
授 業 の 進 め 方	基礎知識を学び、実技中心で行う。				

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	手遊び・わらべうた	4時間
2	お手玉遊び	2時間
3	折り紙遊び	2時間
4	簡単なゲーム	5時間
5	手作りおもちゃ	2時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
授業への取り組み（60%） 実技試験（40%）

使用教材・参考文献等
『こどものうた200』

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科目名	こどもの遊びⅡ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	実習に向け、保育技術の向上を目指す。こどもの遊びにはどのような意味があるのかを考えながら、こどもの成長や発達段階に合わせた「こどもの遊び」を創造できる力を培う保育を行うための授業を展開する						
担当講師	氏名	桑原亜矢子		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。現場での経験を活かし子どもの年齢にあった遊びについて指導にあたる						
時間数	15 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	手遊びや絵本、紙芝居の導入のあり方について学ぶ。またこどもの発達段階を踏まえた遊びを学び、実際の保育展開について理解する。						
準備学習の内容	普段から児童文化や遊びに関心を持ち、子どもたちにとって望ましい教材選びを行う						
授業の進め方	幼児の発達過程の特徴の理解を深め、その過程に適した創作活動の援助について考察する。						

回数	授業内容	授業時間
1	ペープサート・シアター制作	4時間
2	ペープサート・シアター発表	2時間
3	伝承遊び	2時間
4	パネルシアター制作	5時間
5	パネルシアター発表	2時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
課題への取り組み（70%） 発表（30%）

使用教材・参考文献等
幼稚園・保育園児童福祉施設等実習ガイド

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	子どもの遊びⅢ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	こどもの心を育むための遊びを、グループで知識や技術を高め合いながら学び、こどもたちの表現力、想像力はもちろん完成を培う授業を展開する。						
担当講師	氏名	岩永加寿恵		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。現場での経験を活かし子どもの年齢にあった遊びについて指導にあたる						
時 間 数	15 時間	単 位 数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	こどもの遊びⅡで学んだことを踏まえ、より深く実際の保育展開について理解する。						
準備学習の内容	普段から児童文化や遊びに関心を持ち、子どもたちにとって望ましい教材選びを行う						
授業の進め方	ひとつの課題についてそれぞれグループに分かれ進める						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	春のこどもの遊び	3時間
2	夏のイベント活動	5時間
3	秋（運動会）の活動	4時間
4	生活発表会	3時間
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

課題への取り組み（70%） 発表（30%）

使用教材・参考文献等

授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	保育こども科		専門課程	教育・社会福祉専門課程			
科 目 名	卒業研究		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	専門知識・技術をもとにグループでテーマを選択し、調査・研究・体験活動・創作活動を行い、その成果を発表する。学習内容の総まとめを行うことで保育者としての専門性をはかる。						
担当講師	氏名	岩永加寿恵		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	幼稚園にて勤務経験がある。現場での経験をもとに、学生が今まで学んだことを研究し、企画運営を行い発表出来るように導く						
時間数	215時間	単位数	7単位	学習時期	学年	3年生	期 通年
科目区分	<input type="checkbox"/> 専門	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	保育に関する専門知識を深める。保育に必要な表現力を体得する。						
準備学習の内容	保育雑誌などを閲覧し教材研究・研究調査に繋げる。						
授業の進め方	テーマ毎に研究し、創作していく。						

授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	テーマの検討	215時間
2	教材研究・研究調査・体験活動	
3	創作活動	
4	発表会に向けた準備・打ち合わせ	
5	企画・運営	
6	1年間を通した振り返り	
7	卒業課題研究を通した学びについてまとめる	
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準

授業への積極的参加（80%） 発表（20%）

使用教材・参考文献等

保育雑誌等